

平成29年7月

教育委員会定例会議案等

新潟市教育委員会

平成29年7月教育委員会定例会議事日程

新潟市教育委員会

日 時	平成29年7月21日（金） 午後3時 開会
場 所	新潟市役所白山浦庁舎6号棟2階 教育会議室1
日 程	<p>第1 会議録署名委員の指名</p> <p>第2 付議事件</p> <p>議案第10号 平成30年度使用新潟市立小学校用教科用図書（道徳以外） 並びに新潟市立中学校用教科用図書の採択について…… 1</p> <p>議案第11号 平成30年度使用新潟市立高志中等教育学校 前期課程用教科用図書の採択について…… 6</p> <p>議案第12号 平成30年度使用新潟市立小学校用教科用図書（道徳）の 採択について…… 9</p> <p>議案第13号 平成30年度使用新潟市立特別支援学校・学級用一般図書 の採択について…… 10</p> <p>議案第14号 新潟市教育委員会組織規則の一部改正について…… 47</p> <p>議案第15号 新潟市教育委員会公印規則の一部改正について…… 50</p> <p>議案第16号 市長の権限に属する事務の委任につい…… 55</p> <p>議案第17号 新潟市長から委任を受けた新潟市芸術創造村・国際青少年 センターの管理に関する規則の制定について…… 58</p> <p>議案第18号 教職員の人事措置について…… 73</p> <p>第3 次回日程</p> <p>8月定例会 平成29年 8月28日（月）午後3時30分</p> <p>9月定例会 平成29年 9月28日（木）午後3時30分</p> <p>第4 閉会</p> <p>第5 協議会</p> <p>・教育委員会の事務の管理及び 執行状況に関する点検・評価について…… 1</p>

付議事件

議案第10号

平成30年度使用新潟市立小学校用教科用図書（道徳以外）並びに新潟市立中学校用教科用図書の採択について

平成30年度使用新潟市立小学校用教科用図書（道徳以外）並びに新潟市立中学校用教科用図書の採択について，議決を求める。

平成29年7月21日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

平成30年度使用新潟市立小学校用教科用図書 1

新潟市教育委員会

教科・発行者 の番号・略称	使用 学 年	教科書の 記号・番号	書 名
国 語 2 東 書	1	国語 131	新編 あたらしい こくご 一上
		国語 132	新編 あたらしい こくご 一下
	2	国語 231	新編 新しい国語 二上
		国語 232	新編 新しい国語 二下
	3	国語 331	新編 新しい国語 三上
		国語 332	新編 新しい国語 三下
	4	国語 431	新編 新しい国語 四上
		国語 432	新編 新しい国語 四下
	5	国語 531	新編 新しい国語 五
	6	国語 631	新編 新しい国語 六
書 写 1 1 学 図	1	書写 132	みんなとまなぶ しょうがっこう しょしゃ 一ねん
	2	書写 232	みんなと学ぶ 小学校 しょしゃ 二年
	3	書写 332	みんなと学ぶ 小学校 書写 三年
	4	書写 432	みんなと学ぶ 小学校 書写 四年
	5	書写 532	みんなと学ぶ 小学校 書写 五年
	6	書写 632	みんなと学ぶ 小学校 書写 六年
社 会 1 7 教 出	3・4	社会 333	小学社会 3・4 上
		社会 334	小学社会 3・4 下
	5	社会 533	小学社会 5 上
		社会 534	小学社会 5 下
	6	社会 633	小学社会 6 上
		社会 634	小学社会 6 下
地 図 2 東 書	4	地図 431	新編 新しい地図帳
	6		

平成30年度使用新潟市立小学校用教科用図書 2

新潟市教育委員会

教科・発行者 の番号・略称	使用 学年	教科書の 記号・番号	書 名
算 数 1 1 学 図	1 2	算数 134	みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん
		算数 234	みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上
	3	算数 235	みんなと学ぶ 小学校 算数 2年下
		算数 334	みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上
	4	算数 335	みんなと学ぶ 小学校 算数 3年下
		算数 434	みんなと学ぶ 小学校 算数 4年上
	5 6	算数 435	みんなと学ぶ 小学校 算数 4年下
		算数 534	みんなと学ぶ 小学校 算数 5年
	算数 634	みんなと学ぶ 小学校 算数 6年	
	算数 635	みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 中学校へのかけ橋	
理 科 1 1 学 図	3	理科 333	みんなと学ぶ 小学校 理科 3年
	4	理科 433	みんなと学ぶ 小学校 理科 4年
	5	理科 533	みんなと学ぶ 小学校 理科 5年
	6	理科 633	みんなと学ぶ 小学校 理科 6年
生 活 1 1 学 図	1・2	生活 135	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上
		生活 136	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下
音 楽 2 7 教 芸	1	音楽 132	小学生のおんがく 1
	2	音楽 232	小学生の音楽 2
	3	音楽 332	小学生の音楽 3
	4	音楽 432	小学生の音楽 4
	5	音楽 532	小学生の音楽 5
	6	音楽 632	小学生の音楽 6
図画工作 1 1 6 日 文	1・2	図工 133	ずがこうさく 1・2 上 たのしいなおもしろいな
		図工 134	ずがこうさく 1・2 下 たのしいなおもしろいな
	3・4	図工 333	図画工作 3・4 上 見つけたよ ためしたよ
		図工 334	図画工作 3・4 下 見つけたよ ためしたよ
	5・6	図工 533	図画工作 5・6 上 見つめて 広げて
		図工 534	図画工作 5・6 下 見つめて 広げて
家 庭 9 開隆堂	5・6	家庭 532	小学校 わたしたちの家庭科 5・6
保 健 2 東 書	3・4	保健 331	新編 新しいほけん 3・4
	5・6	保健 531	新編 新しい保健 5・6

平成30年度使用新潟市立中学校用教科用図書 1

新潟市教育委員会

教科・発行者の 番号・略称	使用 学年	教科書の 記号・番号	書名
国語 38 光村	1 2 3	国語731 国語831 国語931	国語1 国語2 国語3
書写 11 学図	1-3	書写732	中学校 書写
社会 (地理的分野) 2 東書	1・2	地理725	新編 新しい社会 地理
社会 (歴史的分野) 2 東書	1-3	歴史729	新編 新しい社会 歴史
社会 (公民的分野) 17 教出	3	公民930	中学社会 公民 とともに生きる
社会(地図) 46 帝国	1-3	地図724	中学校社会科地図
数学 61 啓林館	1 2 3	数学732 数学733 数学832 数学833 数学932 数学933	未来へひろがる数学1 MathNavi ブック1 未来へひろがる数学2 MathNavi ブック2 未来へひろがる数学3 MathNavi ブック3

平成30年度使用新潟市立中学校用教科用図書 2

新潟市教育委員会

教科・発行者の 番号・略称	使用 学年	教科書の 記号・番号	書 名
理科 1 1 学 図	1 2 3	理科 7 2 9 理科 8 2 9 理科 9 2 9	中学校科学 1 中学校科学 2 中学校科学 3
音楽（一般） 1 7 教 出	1 2・3 2・3	音楽 7 2 5 音楽 8 2 5 音楽 8 2 6	中学音楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 上 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 下 音楽のおくりもの
音楽（器楽合奏） 1 7 教 出	1・3	器楽 7 7 3	中学器楽 音楽のおくりもの
美術 3 8 光 村	1 2・3	美術 7 2 7 美術 8 2 7	美術 1 美術 2・3
保健体育 4 大日本	1・3	保体 7 2 6	新版 中学校保健体育
技術・家庭 （技術分野） 2 東 書	1・3	技術 7 2 4	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭 （家庭分野） 2 東 書	1・3	家庭 7 2 4	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
英語 1 5 三省堂	1 2 3	英語 7 3 0 英語 8 3 0 英語 9 3 0	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 1 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 2 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3

議案第 1 1 号

平成 3 0 年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択について

平成 3 0 年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択について，議決を求める。

平成 2 9 年 7 月 2 1 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

平成30年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書1

新潟市教育委員会

教科 発行者の番号 略称	使用 学年	教科書の 記号・番号	書名
国語 15 三省堂	1 2 3	国語729 国語829 国語929	現代の国語1 現代の国語2 現代の国語3
書写 38 光村	1-3	書写735	中学書写 一・二・三年
社会 (地理的分野) 2 東書	1・2	地理725	新編 新しい社会 地理
社会 (歴史的分野) 2 東書	1-3	歴史729	新編 新しい社会 歴史
社会 (公民的分野) 2 東書	3	公民929	新編 新しい社会 公民
社会(地図) 46 帝国	1-3	地図724	中学校社会科地図
数学 61 啓林館	1 2 3	数学732 数学733 数学832 数学833 数学932 数学933	未来へひろがる数学1 MathNavi ブック1 未来へひろがる数学2 MathNavi ブック2 未来へひろがる数学3 MathNavi ブック3

平成30年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書2

新潟市教育委員会

教科 発行者の番号 略称	使用 学年	教科書の 記号・番号	書名
理科 2 東書	1 2 3	理科727 理科827 理科927	新編 新しい科学 1 新編 新しい科学 2 新編 新しい科学 3
音楽(一般) 17 教出	1 2・3 2・3	音楽725 音楽825 音楽826	中学音楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 上 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 下 音楽のおくりもの
音楽(器楽合奏) 17 教出	1-3	器楽773	中学器楽 音楽のおくりもの
美術 116 日文	1 2・3 2・3	美術728 美術828 美術829	美術1 出会いと広がり 美術2・3 上 学びの深まり 美術2・3 下 美の探求
保健体育 4 大日本	1-3	保体726	新版 中学校保健体育
技術・家庭 (技術分野) 2 東書	1-3	技術724	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭 (家庭分野) 2 東書	1-3	家庭724	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
英語 15 三省堂	1 2 3	英語730 英語830 英語930	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 1 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 2 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3

議案第12号

平成30年度使用新潟市立小学校用教科用図書（道徳）の採択について

平成30年度使用新潟市立小学校用教科用図書（道徳）の採択について、議決を求める。

平成29年7月21日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

議案第13号

平成30年度使用新潟市立特別支援学校・学級用一般図書の採択について

平成30年度使用新潟市立特別支援学校・学級用一般図書の採択について、議決を求めらる。

平成29年7月21日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

平成29年7月11日

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子 様

平成30年度使用教科用図書審議委員会

委員長 鈴木 恵 

平成30年度使用教科用図書に関する資料について（答申）

このことについて、下記観点からの研究結果に基づき慎重に審議した結果、平成30年度に新潟市の小学校で使用する道徳教科用図書及び一般図書（特別支援学校・学級用）を採択する際に参考となる資料について、別紙のとおり、答申いたします。

記

ア 小学校道徳教科用図書について

- ① 新学習指導要領（道徳）の目標や内容等を十分に踏まえたこと。
- ② 新潟市における学校教育の課題や重点を踏まえたこと。
- ③ 道徳教科用図書の特徴が明瞭になるように、内容の選択、扱い方、程度、表現等の観点から比較研究を行ったこと。その際、県教育委員会が提供する「教科用図書研究資料」を参酌したこと。

イ 特別支援学校・学級における一般図書について

教科の主たる教材としての内容を具備し、教育上適切であると判断され、障がいの程度を十分に踏まえたこと。その際、県教育委員会が提供する「研究資料」を参酌したこと。

小学校教科用図書(道徳)
(答申)

平成 30 年度使用教科用図書審議委員会

小学校部会報告

1 調査員による研究経過について

(1) 調査員の打合せ会

平成29年6月5日（月）午後1時30分から、新潟市立総合教育センターにおいて、小学校道徳の調査員による平成30年度使用教科用図書調査員打合せ会が開催された。

全体会では、教科用図書採択に関する基本方針，諮問内容の確認，調査研究業務遂行における基本的な心構え，研究報告書及び作業日程の説明等がなされた。

部会では，調査研究の観点や作業日程等，今後の調査研究の推進について話し合い，確認し合った。

(2) 調査研究

道徳部会では，一人一人の委員が調査研究の観点を基に調査・研究を進めるとともに，計画に基づいて部会を開き，委員間で積極的に意見を交換し合い，検討結果を調査研究報告書としてまとめた。

2 調査研究の結果について

調査研究の結果は，別紙報告書のとおりである。

調査研究に当たって，重視した考え方や理由等は，概ね次のとおりである。

学習指導要領（道徳）の目標に照らすとともに，「新潟市の学校教育」の「いのちの教育・心の教育の充実」で掲げる「自他を尊重する心や豊かな人間性，社会性を身に付け，自信と誇りをもって生きることができる児童生徒を育む教育」にふさわしい内容・編集であるか，「考え，議論する道徳」授業を行うのに適している内容・編集であるか，いじめ問題を含む人間関係等の課題を含め，児童が深く考えることができ，人間としてよりよく生きるための喜びや勇気を与えられる内容か，次の観点から調査・検討した。

(1) 内容面

① ねらいを達成するのにふさわしい教材である。

② 特定の見方や考え方に偏った取扱いではなく，児童の多様な考え方・感じ方が生じる内容である。

(2) 構成・編集

① 内容項目の構成や配列が工夫され教材がバランスよく配置されている。

② 児童の興味・関心を喚起したり，思考を助けたりできるように，写真やイラスト，図，資料等を工夫し，発達段階に応じて編集されている。

③ 言語活動や問題解決的な学習，道徳的行為に関する体験的活動が効果的に取り扱われている。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
2 — 東書	(1) 内容面 ①ねらいを達成するのにふさわしい教材について ②多様な考え方・感じ方が生じる内容について	○児童の生活実態や体験活動の時期に合わせて教材を配列している。 ○児童の生活の中にある話や実話、実在の人物などを読み物資料として掲載している。 ○各教材のタイトルとともに学習のテーマを示し、児童自身が何を学習するかという見通しをもって学習に臨めるようにしている。 ○巻頭に「こんな自分になりたいな」「あなたの考えを書いてみよう」の記入ページが設けられている。 ○巻末には「心に残った話や友だちの意見、感じたこと考えたこと」などを記入するページがある。 ○「学習の振り返り」は、巻末に1年分まとめてページがある。
書 名	(2)構成・編集 ①内容項目の構成や配列のバランス	○教材数35(1学年では34)+情報モラル教材+ふろくの構成となっている。 ○全学年で同じ重点指導内容を設定している。「生命の尊さ」「美しいものに感動する心」「親切、思いやり」において、繰り返し学習することができる。 ○いじめについて全学年で2教材ずつ掲載している。情報モラルの教材をすべての学年で扱っている。
新 し い 道 徳	②発達段階に応じた編集 ③言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的活動の取り扱い	○低学年では、「節度、節制」を重点指導内容としている。 ○低学年では挿絵を、中学年ではマンガや吹き出しを、高学年では実話や実在の人物を扱った資料を掲載している。 ○巻末のふろく「つながる 広がる」で、低学年では日常生活について、中学年では郷土について、高学年では日本の文化や先人について掲載している。 ○巻頭に、イラストと文章で、言語活動を含む学習活動例が示されている。 ○「出会う・ふれ合う」では、友だちとふれ合えるような体験的な活動例が示されている。 ○「問題を見つけて考える」では、考えるステップが示され、言語活動や問題解決的な学習につなげている。
	(3)全体的な特徴	○AB版サイズの教科書1冊で構成されている。 ○安全、防災、情報モラルなどの今日的な課題を取り上げている。 ○教材文と体験活動との関連を大切にして編集しており、読みもの道徳に終始しないよう配慮している。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
11 — 学図	(1) 内容面 ①ねらいを達成するのにふさわしい教材について ②多様な考え方・感じ方が生じる内容について	○年間を通じて4つの視点をまんべんなく配列している。学校行事との関連にも配慮している。 ○身の回りのエピソードや実話、物語などを読み物資料として掲載している。 ○2, 5, 6年に、新潟県にかかわる資料が掲載されている。 ○巻頭に、言語活動を含む活動例がイラストで提示されている。 ○目次の他、巻末に ABCD の内容ごとに分類した教材一覧表があり、「道徳の学習を振り返ろう」として記録する欄が設けられている。 ○別冊の巻末には活動の資料として、話し方・聞き方・話し合いの仕方・役割演技の仕方が示されている。
書 名	(2)構成・編集 ①内容項目の構成や配列のバランス	○教材数35(1学年では34)+読みものコラム6の構成となっている。 ○全学年で「生命の尊さ」を重点項目とし、3つずつ教材を掲載している。 ○学年部ごとに重点項目を設定し、「節度、節制」「規則の尊重」については低・中学年で3つ、高学年では2つの教材を掲載している。
か が や け み ら い	②発達段階に応じた編集 ③言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的活動の取り扱い	○低学年では、内容を理解しやすいようにイラストを多くしたり、手紙を書く例が載ったりしている。 ○別冊「活動」には、教材ごとに考えを出し合う発問例が示されている。 ○読みもの教材は、教師の範読5分程度を想定した作りになっている。 ○別冊「活動」には、教材ごとに考えを出し合う発問例が示されている。 ○別冊「活動」には、書く、登場人物になって考える、話し合うなど多様な活動例が示されている。 ○コラムでは、情報モラルやいのち、現代的な課題を扱い、多様な視点からアプローチしている。
	(3)全体的な特徴	○AB版の「読みもの」「活動」の2冊で構成されている。 ○情報モラル、いじめ問題、防災教育、キャリア教育など、現代社会の課題を取り上げている。 ○「読みもの」と「活動」を明確に分冊にし、課題意識をもってアクティブに学ぶ授業を目指している。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
17 — 教出	(1) 内容面 ①ねらいを達成するのにふさわしい教材について ②多様な考え方・感じ方が生じる内容について	○学校や郷土の行事、季節と関連づけて指導できるように教材を配列している。 ○読みもの資料が多い。中でも、実在の人物や偉人を取り上げた教材が多い。(4年7, 5年14, 6年19) ○1, 3, 4, 5, 6年で、新潟県に根ざした地域教材が掲載されている。 ○巻頭には今の自分や目標などを書くページが、巻末には1年間の道徳の学習を振り返るページが設定されている。 ○本文後の「学びの手引き」に、2～6の発問例があり 児童の実態に応じて選択できる。 ○本文後の「学習の手引き」には、話し合いだけでなく 体験的・問題解決的な発問例が多く掲載されている。
書 名	(2)構成・編集 ①内容項目の構成や配列のバランス ②発達段階に応じた編集 ③言語活動や問題解決的な学習, 道徳的行為に関する体験的活動の取り扱い	○教材数29～30+補助教材5の構成となっている。 ○生命の尊さ・いじめの問題・情報モラルを重点的に扱っている。 ○全学年に渡り、モラルスキルトレーニングが扱われている。 ○低学年では、節度・節制・生命の尊さの教材が多く、中学年からは国際親善、高学年は真理の探究やよりよく生きる喜びへと重点を移している。 ○1, 2年には巻末に礼儀・マナーのページがあり、体験的学習、他教科と関連させた学習へとつなげている。 ○学年が上がるにつれ、実在の人物の資料が多くなっている。 ○考え演じることで正しい行動へとつなげる「スキル」のページがある。 ○本文後の「学習の手引き」に、考えたり話し合ったりする発問例が示されている。 ○教材によっては本文後「ジャンプ」で、役割演技や話し合い、ロールプレイなど、課題解決に向けた学習活動の例が示されている。
は ば た こ う 明 日 へ	(3)全体的な特徴	○教科書は、AB判、1冊で構成されている。 ○全学年でモラルスキルトレーニングが扱われている。また、生命の尊さ、いじめ問題、情報モラルなどを扱っている。 ○地域教材等、他の教材と組み合わせて使うことを前提にして編集しており、発問例も多くして、選択して活用できるようにしている。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
38 — 光村	(1) 内容面 ①ねらいを達成するのにふさわしい教材について ②多様な考え方・感じ方が生じる内容について	○年間を4期に分け、1期はA、2期はB、3期はA、4期はCの視点を重点化している。期ごとに「学びの記録」の欄を設け自己評価できるようにしている。 ○等身大の子どもが悩む問題を手にしながらも、読みもの資料だけでなく、見開きの挿絵、表や写真、マンガでの資料など、多様な教材提示の仕方をしている。 ○6学年に新潟県のかかわる資料が掲載されている。 ○全学年で巻頭には、その学年の成長にあった詩を掲載している。いずれも「みんな 生きている みんなで 生きている」のフレーズで終わり、統一感をもたせている。 ○多面的・多角的に考えることができるよう、教材とコラムを組み合わせたユニットを、1・2年では年間2か所、3～6年生では5か所設けている。 ○多面的・多角的に考えることができるよう、「てびき」にいくつかの観点を示している。
書 名	(2) 構成・編集 ①内容項目の構成や配列のバランス	○教材数35(1学年は34)+コラム5(低学年は2)+ふろく(低学年1、中学年4、高学年5)で構成されている。 ○「生命を大切にする心」の育成に重点をおき、「生命の尊さ」に関する教材を各学年3つ掲載している。 ○巻末に「先生方へ」として教材の一覧だけでなく、現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関わりを示している。 ○低・中・高学年ごとに重点を決め、2教材ずつ掲載している。 ○2学年以上で、巻頭に、道徳の時間の考え方について、イラストや発言例が示されている。 ○写真や地図、グラフなどの多様な形の資料が全学年に渡って掲載されている。 ○本文後の「考えよう」では、話し合ったり役割演技をしたりする発問例が示されている。 ○高学年では、巻末に、発表や話し合いの場面で生かせるような「感想・感情を表すときの言葉」が示されている。 ○ふろくは、幅広い知識や豊かな人間関係を築く内容となっている。
き み が い ち ば ん ひ か る と き	②発達段階に応じた編集 ③言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的活動の取り扱い	○「生命を大切にする心」の育成に重点をおき、「生命の尊さ」に関する教材を各学年3つ掲載している。 ○巻末に「先生方へ」として教材の一覧だけでなく、現代的な課題等との関わりや他教科・領域との関わりを示している。 ○低・中・高学年ごとに重点を決め、2教材ずつ掲載している。 ○2学年以上で、巻頭に、道徳の時間の考え方について、イラストや発言例が示されている。 ○写真や地図、グラフなどの多様な形の資料が全学年に渡って掲載されている。 ○本文後の「考えよう」では、話し合ったり役割演技をしたりする発問例が示されている。 ○高学年では、巻末に、発表や話し合いの場面で生かせるような「感想・感情を表すときの言葉」が示されている。 ○ふろくは、幅広い知識や豊かな人間関係を築く内容となっている。
	(3) 全体的な特徴	○教科書はB5版1冊で構成されている。 ○「いじめ問題」「情報モラル」「地域や伝統を大切に」する今日的な課題について全学年で扱っている。 ○読みもの資料だけでなく、見開き2ページの絵や、マンガ、表や写真など、多様な形式での教材提示を工夫している。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
116 — 日文	<p>(1) 内容面</p> <p>①ねらいを達成するのにふさわしい教材について</p> <p>②多様な考え方・感じ方が生じる内容について</p>	<p>○6年間を通じた学習のつながりや、幼・保との連携、中学との接続に配慮している。</p> <p>○子どもの身の回りの出来事、寓話、偉人、実話などを題材とした読みもの資料を掲載している。</p> <p>○2学年と6学年で新潟県にかかわる教材を扱っている。</p> <p>○別冊「道徳ノート」は、記述式のページがほとんどであり、それぞれの教材に適した発問が示されたり自己評価の欄が設けられたりしている。</p> <p>○巻頭オリエンテーションで友だちの意見を聞く姿勢を、「心のベンチ」で教材とは異なった角度から考える例を示している。</p> <p>○別冊「道徳ノート」では自分と異なる意見を記録する活動を示している。</p>
書 名	(2)構成・編集 ①内容項目の構成や配列のバランス	<p>○教材数35＋補充教材3～4の構成となっている。</p> <p>○全学年共通の重点項目を設定している。「安全なくらし」「人との関わり」について扱っている。</p> <p>○「道徳ノート」のまとめのページに、保護者記入欄が設けてある。</p>
生きる力	<p>②発達段階に応じた編集</p> <p>③言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的活動の取り扱い</p>	<p>○低・中・高学年ごとに、重点的に扱う項目を設けている。</p> <p>○「道徳ノート」は、1・2学年はマス目、3学年以上は罫線になっており、「教科書」の教材配列に対応した作りになっている。</p> <p>○防災・安全教育の関する教材「あんぜんなくらし」を各学年2～3掲載している。</p> <p>○巻頭の「道徳の学び方」で、話し合う、演じる、書く等の活動の様子が写真と吹き出しで示されている。</p> <p>○「学習の手引き」で、体験的活動の例を写真やイラストで示している。</p> <p>○別冊「道徳ノート」で、本文から考えたことだけでなく、これからの自分に活かしていきたいことを記述する欄がある。また、友だちの考えの記入欄、保護者記入欄もある。</p>
	(3)全体的な特徴	<p>○教科書は分冊で構成されている。AB版「教科書」とA4版「道徳ノート」に分かれている。ノートを教科書にはさむようになっている。</p> <p>○「いじめ防止」「安全」「情報モラル」「社会の持続可能な発展」について学年に応じて扱っている。</p> <p>○6年間を通じた学習のつながりや、幼・保との連携、中学との接続に配慮している。</p>

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
208 — 光文	<p>(1) 内容面</p> <p>①ねらいを達成するのにふさわしい教材について</p> <p>②多様な考え方・感じ方が生じる内容について</p>	<p>○他教科や学校行事との関連を考え、学習時期に配慮して教材を配列している。</p> <p>○読みもの資料だけでなく、マンガの資料、4コマ風の挿絵と説明など、教材提示を工夫している。</p> <p>○家庭での出来事や地域との交流を描いたものなど、家庭と地域との連携がとりやすい題材を多く取り入れている。</p> <p>○巻頭に、4つの視点の説明や道徳の時間の解説など、オリエンテーションのページが8ページにわたり書かれている。</p> <p>○本文後には、学習をまとめたり、学んだことを広げたりするための発問例が示されている。</p> <p>○巻末の折り込みに「学びの足あと」を設定し、3期に分けてまとめを記入するようになっている。</p>
書 名 ゆ た か な 心	<p>(2)構成・編集</p> <p>①内容項目の構成や配列のバランス</p> <p>②発達段階に応じた編集</p> <p>③言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的活動の取り扱い</p>	<p>○教材数が40と多く、選択または連続して扱うようになっている。教材の他に、各学年4つのコラムを掲載している。</p> <p>○本文後に、理解を助ける説明資料が付いている教材がいくつか掲載されている。</p> <p>○「生命の尊さ」を全学年通じて重点項目に設定し、6年間を見通して取り組めるように配置してある。</p> <p>○各学年で重点主題を設定し、連続もしくは複数時間で扱うようにしている。</p> <p>○写真やイラストを大きくし、視覚的にとらえやすいようにしている。</p> <p>○自分の考えを書き込む欄が3学年以上には設けられている。</p> <p>○巻頭の「道徳の時間は、こんな時間です」で、問題解決の過程がイラストと文章で示されている。</p> <p>○本文後に「まとめる活動」「広げる活動」が設定され、読書や名言に親しむ等の言語活動例や実践活動例を通して考える学習につなげている。</p> <p>○「みんなでやってみよう！」で、友だちとふれ合いながら考える体験的な活動例が示されている。</p>
	<p>(3)全体的な特徴</p>	<p>○教科書は、変則 A4 版(縦が A4 版より役 1 cm 短い) 1冊で構成されている。</p> <p>○各学年に情報モラルやいじめの問題、現代的な課題を考えるページがあり、教材とつなげ、まとめて学習できるようになっている。</p> <p>○読みもの資料だけでなく、マンガの資料、4コマ風の挿絵と説明など、多様な教材提示を工夫している。</p>

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
224 — 学研	(1) 内容面 ①ねらいを達成するのにふさわしい教材について ②多様な考え方・感じ方が生じる内容について	○4つの視点がまんべんなく配列されている。学校生活の流れも意識している。 ○巻頭には今の自分を記録するページ、道徳授業の学び方を示したページ、4つの視点ごとに教材をまとめたページが設けられている。 ○様々な分野の今を生きる人や先人を数多く掲載している。 ○本文後に「考えよう」の欄があり、2つの設問が示されている。 ○複数の教材を続けて学習できるまとまりが、各学年2つ程度あり、多面的・多角的に考える場を与えている。 ○異なる2つの意見を提示して比べて考えさせたり、「学びのページ」で自己の生き方についての考えを深めさせたりするページがある。
書 名	(2)構成・編集	
みんなの 道徳	①内容項目の構成や配列のバランス ②発達段階に応じた編集 ③言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的活動の取り扱い	○教材数35+4種類の学び方のページで構成されている。 ○「いのちの教育」に重点を置き、全学年3つの教材を用意。「いじめ防止」の教材も各学年に掲載している。 ○身近な内容と遠大な内容、実話と創作、詩や写真などの多様な形式の教材を様々な観点からバランスを考えて構成している。 ○学年部ごとに重点主題を設け、複数時間で同じ内容項目の教材を扱うようにしている。 ○4年生以下では「やってみよう」で体験的学習を取り入れた活動例が多い。 ○3学年以上で、巻頭に、考える、まとめるといった言語活動がイラストと文章で表示されている。 ○本文後の学習の手引き「考えよう」に2つの発問例が示されている。 ○「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「ひろげよう」の4つの学び方のページがあり、自分の考えを整理するための記述欄も設けている。 ○多様な学習活動例を複数紹介している。
	(3)全体的な特徴	○教科書はA4版1冊で構成されている。 ○情報モラル、健康、消費者教育、防災、福祉など現代的な課題に対応した内容を取り上げている。 ○写真やマンガ、大きな挿絵など、多様な形式の教材で教科書を構成している。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
232 — 廣あかつき	(1) 内容面 ①ねらいを達成するのにふさわしい教材について ②多様な考え方・感じ方が生じる内容について	○各教科の学習内容の時期的・内容的な関連を考慮して配列している。 ○子どもの生活や実在の人物、実話などを題材にした読みもの資料や名作とされる読みもの資料を掲載している。 ○内容項目と関連する学習が広がるように、本や具体的な活動例を紹介している。 ○巻頭の「道徳の時間はこんな時間です」で、活動例が文章で示されている。 ○別冊「道徳ノート」は、4つの観点別にページが組まれており、「教科書」の複数の教材を関連させて考えを書き込む欄がある。 ○話し合いや体験活動について感想を書くページがある。
書 名	(2)構成・編集 ①内容項目の構成や配列のバランス	○教材数35(1学年は34)+補充教材3(3～6年)の構成となっている。 ○全学年で「生命の尊さ」を重点項に設定している。「生命の尊さ」「思いやり」はどの学年も3つ教材が掲載されている。 ○教科書の巻頭には、各学年の発達段階にふさわしい詩が掲載されている。
小学生の 道徳	②発達段階に応じた編集 ③言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的活動の取り扱い	○本文後には、教材に沿った発問例が低学年1～2、中高学年で3～4示されている。 ○目次の後に、どの学年も、発達段階にあった詩が掲載されている。 ○低・中・高学年別に重点項目を設けている。 ○本文後の「考えよう話し合おう」では、学習課題と発問例が示されている。また、「学習を広げる」では、考えを深める活動例が示されている。 ○別冊「道徳ノート」では、主題ごとに学習内容の解説があり、1教材2ページで記入するよう構成している。また、巻末には、話し合い活動と体験活動の記録を記入するページがある。 ○折り込みの振り返りの一覧表には「先生や家の人に見てもらった印」を記入する欄が設けられている。
	(3)全体的な特徴	○教科書はAB版「教科書」とAB版「道徳ノート」の分冊で構成されている。 ○情報モラル、いじめ問題など、現代的な課題を取り上げている。 ○名作とされる教材を多く掲載している。ノートを別冊として、心の記録として活用しやすいように考えている。

特別支援学校・学級用一般図書
(答申)

平成 30 年度使用教科用図書審議委員会

平成30年度使用一般図書（特別支援学校・学級用）

特別支援教育教科用図書調査部会報告

1 調査員の調査経過について

(1) 調査研究の観点の共通理解

平成29年6月5日、新潟市立総合教育センターにおいて、平成30年度使用学校教育法附則第9条の規定による一般図書（特別支援学校・学級用）の調査研究のための調査部会を開催し、文部科学省通知で示されている観点を踏まえ、5月31日の特別支援教育教科用図書審議会で示された研究の観点について共通理解を図った。

【観 点】

- ① 可能な限り系統的に編集されており、教科の目標に沿う内容をもつものであること。
- ② 児童生徒の障がいの種類・程度，能力・特性，心身の発達段階を十分踏まえたものであること。なお，児童生徒の一般図書に対する理解度の目安はおおむね次によることとする。
 - A 話し言葉はもたないが，物事への興味や関心が出始め，簡単な弁別が可能な段階
 - B 話し言葉をもち，文字の読み書きに興味を持ちはじめ，物事の簡単な因果関係が分かる段階
 - C 簡単な読み書きは可能であるが，文部科学省検定教科書及び文部科学省著作教科書（通称☆印教科書）では学習が困難な段階
- ③ 上学年で使用することとなる教科用図書との関連性を十分考慮したものであること。
- ④ 教科用図書として使用する上で適切な体裁のものであること。

(2) 調査研究

小学校特別支援学級，中学校特別支援学級，特別支援学校小学部，特別支援学校中学部の4部会に分かれ，「平成30年度用 一般図書一覧（文部科学省 平成29年3月）」に掲載されている図書について，「学校教育法附則第9条の規定による一般図書（特別支援学校・学級用）研究資料（県教育委員会 平成29年6月）」，「現行の学習指導要領以降に採択された一般図書」を参考にしながら，上記（1）の観点に基づき，調査研究を行った。

各部会では，文部科学省の一般図書一覧の中で，上記（1）の観点到示されている内容に該当すると思われる図書について，児童生徒の実態に対応できるようにA・B・Cの3段階に分け，図書としての特徴，教科用図書としての良さや活用方法などを参考情報として記述した。

調査研究の最終段階では，特別支援学校小学部と中学部との関連と整合性を確認するとともに，小学校特別支援学級と中学校特別支援学級との整合性について検討した。

2 調査研究の結果について

- (1) 調査研究の結果は、別紙報告書のとおりである。
- (2) 一般図書の調査研究に当たっては、前年度に引き続き小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小学部・中学部の保護者から調査員として参加いただいた。保護者としての考えや要望を聞くことができ、調査研究が深まった。

平成30年度使用新潟市立特別支援学校・学級用一般図書

平成30年度の学校教育法附則第9条による特別支援学校小学部・中学部及び特別支援学級における教科用図書『一般図書(特別支援学校・学級用)』については、以下のとおりとする。

- 1 文部科学省検定済教科書の下学年用及び同一内容の拡大教科書
(平成30年度使用用新潟市立小学校用教科用図書並びに新潟市立中学校用教科用図書)
- 2 文部科学省著作教科書(特別支援知的障がい者用)及びその下学年用

種目	発行者		教科書番号	書名
	番号	略称		
国語	2	東書	C-111	こくご ☆
			C-112	こくご ☆☆
			C-113	こくご ☆☆☆
			C-711	国語 ☆☆☆☆
算数 ・ 数学	17	教出	C-111	さんすう ☆
			C-112	さんすう ☆☆(1)
			C-113	さんすう ☆☆(2)
			C-114	さんすう ☆☆☆
			C-711	数 学 ☆☆☆☆
音楽	2	東書	C-111	おんがく ☆
			C-112	おんがく ☆☆
			C-113	おんがく ☆☆☆
			C-711	音 楽 ☆☆☆☆

平成30年度使用一般図書(特別支援学校・学級用)についての調査研究報告

校種 教科名・段階		小学校		中学校		特別支援学校		特別支援学校	
		特別支援学級		特別支援学級		小学部		中学部	
教科名	段階	小計	冊数	小計	冊数	小計	冊数	小計	冊数
国語	A	8	2	6	2	12	3	11	4
	B		3		2		4		3
	C		3		2		5		4
生活(社会)	A	7	2	6	2	11	4	11	3
	B		2		2		4		3
	C		3		2		3		5
算数/数学	A	7	2	9	3	15	3	12	2
	B		2		2		5		5
	C		3		4		7		5
生活(理科)	A	7	2	7	2	11	4	10	2
	B		2		2		2		3
	C		3		3		5		5
図工/美術	A	6	2	6	2	11	3	11	3
	B		2		2		5		4
	C		2		2		3		4
生活(家庭)	A	8	2	7	2	10	3	10	2
	B		3		2		3		2
	C		3		3		4		6
リスト合計			43		41		70		65

A: 話し言葉をもたず、物事への興味や関心が見られ、簡単な弁別が可能な段階である。

B: 話し言葉もち、文字の読み書きに興味をもちはじめ、物事の簡単な因果関係がある程度分かる段階である。

C: 簡単な読み書きが可能であるが、文部科学省検定教科書及び文部科学省著作教科書(通称☆印教科書)では学習が困難な段階である。

平成30年度使用一般図書(特別支援学級用) 小学校用 報告書

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
国語	A	しかけ絵本の本棚 コロちゃんはどこ?	エリック=ヒル	評論社	1,200	子犬を母犬が探す展開。見開きで一つずつ仕掛けがあり、それを開くと、様々な動物が隠れている。「…のなかかな」「…のしたかな」などシンプルな文で統一され、文字も大きくて見やす
	A	あかちゃんのおそびえほん(1)ごあいさつおそび	きむらゆういち	偕成社	680	ゆうちゃんの家動物たちが訪ねてくる展開である。読み進めるうちに「こんにちは」「ありがとう」「いらっしやいませ」「いただきます」といった日常生活のなかでの言葉に触れることができる。
	B	あっちゃんあがつくたべものあいうえお	さいとうしのぶ	リーブル	1,800	こどもの好きな食べものの挿絵が大きく描かれている。リズムカルな言葉が添えてあり、思わず声にしたくなるような擬音語・擬態語が多く、言葉への関心を高めることができる。
	B	ことばえほん	土田 義晴	グランまま社	1,700	日常生活で使ういろいろな言葉が絵と単語で説明されている。場面に応じた様々な言葉が集められており、言葉への関心を高めることができる。
	B	もじ・ことば1 はじめてのひらがな1集	志村 直人	くもん出版	660	ひらがなに興味をもちはじめた子どもたちに、線を引く練習や書きやすいひらがな10文字を選んで練習することができる。シート・ホワイトボード用ペンを使うことで、繰り返し学習できる。「できたシール」や「がんばったね賞状」付きで意欲を高めることができる。
	C	あかね書房の学習えほん あそぼうあそぼうあいうえお	村上 勉	あかね書房	1,600	様々なものの名前について、文章を読みながら絵を楽しむことができる。ひらがな文字への関心を高めることができる。
	C	五味太郎・言葉図鑑(10)なまえのことば	五味 太郎	偕成社	1,400	様々なものの名前について、絵と文章による説明が付いており、文章を読みながら絵を楽しむことができる。漢字も使われていて知的好奇心をくすぐる。
生活(社会)	C	もじ・ことば11 はじめてのかん字	志村直人	くもん出版	660	はじめて漢字を学習する子どもたちに、1年生から習う配当漢字から身近でわかりやすい30文字を練習することができる。
	A	知育えほん マークのずかん	澤村岳志	鈴木出版	1,600	日常生活におけるいろいろな標識が、分かりやすく紹介されていて色もきれい。マークは子どもの関心を引きやすく、実際の生活にも役に立つ。
	A	かばくん・くらしのえほん2 かばくんのおかいもの	ひろかわさえこ	あかね書房	1,000	かばくんとおかあさんがいろいろなお店へ買い物に行くという設定でいろいろな品物が出てくる。買い物というストーリーを楽しみながら「にんじんは?」「おさしみは?」と指さしを促すことができる。
	B	でんしゃでいこう でんしゃでかえろう	間瀬なおかた	ひさかたチャイルド	1,000	「デデン・ドドン」というリズムカルな言葉とともに、線路がトンネルの穴で次ページにつながっていく。また、最後まで読み進めると、最後のページから最初のページへと逆に戻ることができる。電車に対する児童の興味を引く。ページごとに季節や風景が移り変わる様子にも目を向けることができる。
	B	みぢかなながくシリーズ 町たんけん はたらく人 みつけた	秋山 とも子	福音館書店	1,200	町探検の経験を生かし、身近な地域の生活の様子を、楽しいイラストを見ながら、興味をもって学習することができる。
	C	新版 はじめましてにほんちず	高木 実, 高木 幸子	平凡社	1,600	地域ごとの特徴が、はっきりした色でぬり分けられている。子どもの興味を引きやすいものを楽ししいイラストで紹介している。

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
生活 (社会)	C	子どものマナー図鑑 (1) ふだんの生活 のマナー	峰村 良子	偕成社	1,500	言葉遣い・電話・手紙に関する事項や、掃除・洗濯・買い物などの日常生活場面が、テーマごとに見開きで構成されている。生活の基本からお手伝いなど、いろいろな活動に関連させることができる。
	C	新版ふしぎ・びっくり! ?こども図鑑8き せつ	志村 隆	学研	1,900	子どもたちに身近な行事やくらしが絵や写真で楽しく紹介されている。季節ごとに生き物や植物、料理の紹介もある。クイズもあって楽しみながら学ぶことができる。
算 数	A	あかちゃんとおかあさん の絵本 ハティちゃん のまる・さんかく・しかく	わらべ きみ か	金の星 社	780	身近にあるものを形にたとえているので、丸、三角、四角の形をとらえやすい。1ページに絵が一種類のため、理解しやすい。
	A	おけいこ はじめてのおけいこ	志村直人	くもん 出版	660	はじめて鉛筆をもつ子どもたちに、基本の運筆力(鉛筆の持ち方、使い方など)をつけることができる。
	B	スキンシップ絵本 か ずのえほん	わらべ きみ か	ひさか たチャイル ド	1,600	見開きごとに、一つの数字と数が展開する。シンプルで分かりやすく、色もきれい。数字や絵が大きいので、指でなぞったり数えたりすることができる。
	B	デコボコえほん かずをかぞえよう	グザビエ・ドゥ ヌ	小学館	1200	カラフルな絵と1から10までの数字が順に出てくる。数字ととび出た丸の数を対応させて覚えることができる。数字がくぼんでいるので、指でなぞって練習することができる。
	C	21世紀幼稚園百科6 かずあそび1・2・3	野田 一郎	小学館	970	10までの数を具体的なものの集まりや順序などの視点からとらえることができる。文字や写真を用い、視覚的効果を引き出している。大きな数もあり、発展的な扱いができる。
	C	ことばをおぼえる本 かず・かたち・いろあ いうえお	清水 驍	偕成社	1,800	楽しく遊びながら、数・形・色を学習することができる。初歩的な数の概念や簡単な計算にも興味をもつことができる。
C	音のでる知育絵本16 とけいがよめるよう になる!!とけいくん	奥村 傳	ポプラ 社	1,800	とけいあわせゲームで、遊びながらとけいがよめるようになる。音声や音楽が流れるので、どんどんとけいがすきになり、とけいをよむ力を付けることができる。	
生活 (理科)	A	幼児絵本シリーズ く だもの	平山 和子	福音館 書店	900	身近な食べ物が載っている。絵がリアルで、子どもが関心をもちやすい。文字が少なく、「さあ、どうぞ」という言葉で食べたくなり、次のページをめくりたくなる。
	A	ひとりで うんち	きむらゆうい ち	偕成社	680	様々な動物の排泄を親しみやすいユーモラスな絵で表している。楽しい仕掛けと繰り返しで、子どもの生活に身近な排泄への関心をもたせることができる。
	B	やさしいからだのえ ほん1 からだのなか はどうなっているの?	せべ まさゆ き	金の星 社	1,200	体の仕組みが分かりやすく、子どもが興味をもつ絵になっている。心臓や腸などが絵で簡単に説明しており、分かりやすい。
	B	かがくのとも絵本 みんなうんち	五味 太郎	福音館 書店	900	様々な動物や人の「うんち」の様子が、ユーモラスに描かれている。楽しみながら排泄や体の仕組みに興味をもつことができる。

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
生活（理科）	C	かがくのとも絵本 たべられるしょくぶつ	森谷憲(文), 寺島龍一(絵)	福音館書店	900	じゃがいもやさつまいもなど、学級園で自分たちが栽培する身近な野菜の成長過程に、興味をもちやすい。種から実への成長の様子や、土の中の様子も表現されていて分かりやすい。図鑑としても使える。
	C	福音館の科学シリーズ 昆虫ちいさななかまたち	得田 之久	福音館書店	1,500	昆虫たちは、それぞれすむにふさわしい場所をもっている。身近な昆虫を中心に彼らがどんな場所にすんでいるのか、美しい絵で紹介している。
	C	写真でわかるなぜなに どうぶつ	今泉忠明	世界文化社	1,165	23種類の動物について、疑問に答える形で生態を紹介している。分かりやすい写真を豊富に使い、動物の特徴や生態が説明されており、動物について学習を深めることができる。
図画工作	A	クーとマーのおぼえるえほん1 ぼくのいろなあに	はたこうしろう	ポプラ社	880	物語が展開するにつれて、次々と洋服の色が変わっていく。身近なものに関連させて色を意識付けている。絵がかわいくて、色がきれいなので、色への関心が高まる。
	A	あそびのおうさまBOOK どんどんぬるほん	LaZOO	学研	950	200ページにわたり、色をぬったり線や点を描きこんだりすることができる。特に後半のページは指示された内容にそってイメージを広げながら描くともっと楽しめる内容になっている。
	B	あそびのおうさまBOOK はじめてきるほん	LaZOO	学研	850	自由にページを切ったり破いたりして、絵本を完成させる構成になっている。カラーでかわいらしいデザインは、子どもの興味を引きやすく、ちぎることから、はさみやのり、テープの使い方を学習できる。
	B	あそびの絵本クレヨンあそび	長島 克夫	岩崎書店	1,300	直線や曲線がカラフルに描かれてあり、見ているだけで思わず描きたくなるような見本の絵となっている。
	C	あそびのひろば4 はりえあそび	寺門 保夫	ポプラ社	1,200	折り紙やストローなどを切って、台紙に貼っていくことで、飾りとなる立体や平面の作品ができる。製作過程が分かりやすく掲載されている。
	C	ペーパーランド8 おりがみえあそび	寺門 保夫	ポプラ社	1,200	1枚の折り紙が、5行程度の折り方で身近な動物や食べものなどの作品になる。見立てにより、どんどんと想像を膨らませることができる。
生活（家庭）	A	生活図鑑カード たべものカード	高橋 敦子	くもん出版	900	子どもに身近な料理が、実物に近い鮮やかな絵で1枚のカードに一品ずつ描かれていて、見やすい。裏には、文字で名前が書いてあり、調理法の解説もある。
	A	生活図鑑カード くだものやさいカード 1集	高橋 敦子	くもん出版	900	子どもの身近にあるくだものやささいが、実物に近い鮮やかな絵で、一枚のカードに一品ずつ描かれている。見やすく、裏には詳しい説明も書かれている。
	B	202シリーズ たべもの202	秋吉 文夫	ひかりのくに	1,200	子どもの好きな食べ物が、分かりやすい写真でたくさん載っている。食べ物の種類も豊富で、子どもの興味を引きやすい。
	B	こどものずかん Mio10 たべもの	なし	ひかりのくに	762	たくさんの食べ物の写真が紹介されている。食べものの名称を学習するだけでなく、楽しみながら食への理解を促すことができる。

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
	B	絵で分かるこども生活図鑑 みのまわりのきほん	西方 毅 室矢 真弓 谷田見 円	合同出版	1,400	子どもの日常生活での基本動作を「みのまわり」にしぼって、イラストでわかるようにしてある。子どもの「やってみよう」「自分でできる」という気持ちを引き出し、子どもが出来る着替え・片付けなどの動作を無理なく身に付けることができる
生活 (家庭)	C	ひとりできるもん！ 6 だいすきおやつ作り	平本 ふく子	金の星社	1,960	難しい材料を使わずに、身近なおやつを作って楽しむことができる。調理の手順が絵や写真で説明されていて、分かりやすい。写真がきれいで興味を引く。
	C	ひとりできるもん！ 4 ごはん・パン・めん料理	平本 ふく子	金の星社	1,960	ご飯、パンなどの身近な主食の調理法について、写真によりわかりやすく手順が示されていて、子どもが見通しをもって取り組むことができる。
	C	子どもの生きる力を 育てるせいかつの絵 じてん	内野 美恵	ナツメ社	1,800	食べる、着る、暮らす、楽しむなど、子どもの生きる力を育てるために必要な生活の基本や知恵が絵で分かりやすく確認できる内容になっている。子どもの自立をサポートし、身の周りのことが自分でできるようになる。

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
国語	A	あいうえおうさま	寺村 輝夫	理論社	1,000	ユーモアあふれる王様の絵と一つの音が繰り返される、リズム感のある文。読み聞かせを通して、楽しく言葉や文字への関心を高めることができる。
	A	あっちゃんあがつく たべものあいうえお	さいとう しのぶ	リーブル	1,800	1ページごとにストーリーがあるので、何度でも繰り返し読める。 好きな食べ物のページの言葉は覚えやすく、ドーナツのド、プリンのおなどの濁音・半濁音も出てくる。
	B	よみかた絵本	とだこうしろう	戸田デザイン研究室	1,800	見開き1ページに、絵と一つのひらがな(カタカナ)が組み合わされている。文字も大きく、分かりやすく文字を覚えることができる。
	B	スキンシップ絵本 かたかなアイウエオ	わらべきみか	ひさかたチャイルド	1,600	見開き1ページに一つのカタカナとそれを使った言葉や絵が書かれている。絵はシンプルで余計な装飾はなく、音声と意味がとらえやすい。カタカナ言葉を知るきっかけになる内容である。
	C	もじのえほん かんじ 1	ふなざきよし ひこ	あかね書房	1,500	漢字の成り立ちを、絵と象形文字と漢字とを並べることで、分かりやすく学ぶことができる。いくつもの漢字を、物語形式で関連付けることで、生徒の関心を引く。
	C	もじのえほん かんじ 2	ふなざきよし ひこ	あかね書房	1,500	平易な漢字含まれた文。漢字は、同じページ内に書き順も示してある。音読練習、作文の手本としても適している。
生活(社会)	A	みぢかなかがくシリーズ 町たんけんはたらく人みつけた	秋山とも子	福音館書店	1,200	身近な地域の生活の様子を、楽しいイラストを見ながら、自分の実体験と関連付けて興味をもって学習することができる。
	A	新版はじめましてに ほんちず	高木 実, 高木幸子	平凡社	1,600	各地方の特産物・名所・動植物などが親しみやすいイラストで描かれているため、興味・関心をもって学習することができる。
	B	ドラえもんちずかん1 にっぽんちず	藤子・F・不二雄	小学館	1,500	日本の都道府県について地方ごとにイラストで紹介され、ドラえもんのクイズを解きながら楽しく学習することができる。料理、鉄道など子どもの興味のあることから日本を学ぶこともできる。
	B	ドラえもんちずかん2 せかいんちず	藤子・F・不二雄	小学館	1,500	世界の国々の情報が州ごとに分かりやすくイラスト、写真で紹介されている。ドラえもんのクイズを解きながら楽しく学習することができる。世界の人々の生活のようすを日本とくらべながらイメージすることができる。
	C	福音館の科学シリーズ ただいまお仕事中	おち よしひこ	福音館書店	1,500	子どもの疑問に答える形式で、28種類の仕事を紹介されている。主な仕事の内容について、イラストを用いて解説している。
	C	子どものマナー図鑑 (3)でかけるときのマナー	峯村良子	偕成社	1,500	「電車」「病院」などの公共の場でのマナーが分かりやすいイラストで示されている。外出する際のマナーや、社会性を具体的に学ぶことができる。

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
数 学	A	21世紀幼稚園百科6 かずあそび1・2・3	野田 一郎	小学館	970	カラフルで身近なものの数を数えながら、1から10までの数の意味を理解できる。さらに、数の大小、序列などを興味深く学ぶことができる。
	A	あかね書房の学習えほん おかあさんだ いすき1. 2. 3	村上 勉	あかね書房	1,600	色彩豊かで親しみやすい絵を用い、動物のおかあさんと一緒に子どもの数を数えながら、数の認識ができる。1から10の数字は大きな文字で示され、書き順も学ぶことができる。
	A	かずのえほん1・2・3	五味 太郎	絵本館	1,300	身の回りの様子を題材にした物語の中から数を意識することで、数に親しむことができる。
	B	認識絵本 いくつか な	嘉村 苑子	ひかりのくに	1,200	かぞえうた、形や色などで遊びながら数を認識できる。長さ・高さ・時間なども身近なイラストで楽しみながら学習できる。
	B	21世紀幼稚園百科2 とけいとじかん	栗岩 英雄	小学館	970	1日の生活が時計とともに楽しく描かれている。時計を読む練習が、自分の生活とも関連付けでできる。「はりのないとけい」(デジタル時計)など多様な時計の学習もできる。
	C	かずのほん3 0から 10までのたしざんひ きざん	遠山 啓	童心社	1,300	たし算とひき算の意味を具体物の絵を通して数えることができ、数学の立式と関連付けて学ぶことができる。また、半具体物のタイルを用いて一般化にも努めている。
	C	安野光雄の絵本 は じめてであうすうがく の絵本1	安野 光雄	福音館書店	1,600	なかまはずれ、じゅんぱん、せいくらべなど、数学の基礎的な事柄を学ぶことができる。また、親しみやすい絵で描かれているため、生徒が意欲的に学習に取りかかることができる。
	C	さんすうだいすき あそぶ・つくる・しらべ る2年	森川 幾太郎 竹内 嗣郎 村野 英克	民衆社	1,800	図形や時間の概念、計算のやり方を、わかりやすく解説してある。系統的に学習ができるとともに、生活に密着した場面の中で課題解決ができるような構成になっている。
	C	くらしに役立つ数学	大南 英明	東洋館出版社	1,300	レシートの見方や公共交通機関の時刻の調べ方など、日常生活に結びついている。実用性の高い内容であり、生徒が主体的に生活に生かすことができる。
生 活 (理 科)	A	かがくのとも絵本た べられるしょくぶつ	森谷 憲	福音館書店	900	ふだん口にする野菜の成長が、種から順にわかりやすい絵になっている。野菜は植物のどの部分を食べているのか、また、植物はどう成長するのか具体的に知ることができる。
	A	フレーベル館の図鑑 ナチュラ はるなつあ きふゆ	無藤 隆	フレーベル館	1,900	四季それぞれの特色を、身のまわりの自然(植物・生き物)とくらし(年中行事・食べ物・遊び)について、自分の生活と関連づけながら、楽しく知識を増やしていくことができる。
	B	改訂新版 体験を広 げるこどものずかん4 はなとやさい・くだも の	加藤典康	ひかりのくに	1,000	写真や実物に近い絵などで、理解が一層深められる。植物が季節ごとにまとめられており、調べ学習や栽培活動に活用できる。

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
生活 (理科)	B	ふしぎをためすかがく図鑑 しぜんあそび	水野 丈夫	フレーベル館	2,000	自然の中の植物を利用した遊びや工作から、植物の観察・実験につなげることができる。
	C	ふしぎをためすかがく図鑑 かがくあそび	水野 丈夫	フレーベル館	2,000	日常生活の不思議が、あそびや簡単な実験で確かめられる。実験をしてみたいという気持ちがあふまれ、科学への興味を広げることができる。
	C	みぢかなかがくシリーズ 町の水族館・町の植物園ーさかなやさんとやおやさんー	小林 亜里	福音館書店	1,300	魚や野菜が生き生きと描写されている。買い物や調理を通して、身近なものとして捉えられるように工夫されている。
	C	改訂新版 体験を広げることばずかん9からだとけんこう	牧野 公夫	ひかりのくに	1,000	人の体の仕組みが分かりやすく示されている。体の仕組みや不思議さを、遊びや実験を中心に体験しながら学ぶことができる。
美術	A	あそびのひろば4 はりえあそび	寺門 保夫	ポプラ社	1,200	色紙、毛糸、ボタンなど、身近なものをちぎったり貼ったりして、形や大きさにとらわれることなく自由に創作することができ、絵や工作への興味を広げることができる。
	A	あそびの絵本 えのぐあそび	長島 克夫	岩崎書店	1,300	絵の具を混ぜ、その変化を楽しむことで、興味を広げながら色の学習をすることができる。絵の具の様々なぬり方があることを知ることができる。
	B	あそびの絵本 えかきあそび	長島 克夫	岩崎書店	1,300	形や大きさの違いを意識させ、同じ形でも塗る色や枠の組み合わせによって違うものに見えることで、好奇心を刺激し、描くことの楽しさを味わうことができる。
	B	たのしい図画工作9 うごくおもちゃ	羽場徳蔵	国土社	1,800	廃材や植物など、身近な材料を利用して、簡単なしくみの動くおもちゃを作ることができる。作ったもので遊ぶことにより、造形への意欲をかき立てる内容となっている。
	C	ひとりのできる手作りBOX しぜんで作しよう	塩浦信太郎	岩崎書店	1,500	自然に親しみながら、季節の素材を用いて、簡単な工作ができる。完成までの過程が写真や図で示されており、興味深く作業を進めることができる。
	C	福音館の科学シリーズ あそびのレシピ つくるたのしみ	鈴木 洋子	福音館書店	1,600	興味深い作品が、分かりやすい絵や写真で示されている。自然素材の他、家庭内の不要物を利用しているので、気軽に「つくってみよう!」と思わせる内容である。
生活 (家庭)	A	新装版KIDS2112 たべものひゃっか	岡田 克也	ひかりのくに	850	料理が、その素材と関連付けて紹介されている。料理と素材とのつながりや、素材と栄養とのつながりを学習することができる。
	A	子どもの生活3 マナーをきちんとおぼえよう!	浜田 恭子	偕成社	1,200	家庭生活を中心とした生活習慣の基礎を見やすい絵で紹介しており、生徒が理解しやすい。家庭と学校が協力して取り組める内容になっている。

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
生活（家庭）	B	坂本廣子のひとりでクッキング1 朝ごはんつくろう！	坂本 廣子	偕成社	1,400	簡単に作ることができる朝ごはんメニューが紹介され、実際の調理に活用できる。また、調理のコツやバリエーションなどの説明もあり、生徒の調理への興味を広げることができる。
	B	子どもの生きる力を育てるせいかつの絵じてん	田村 正隆	ナツメ社	1,800	日本の衣食住や伝統文化の中の生活の基本や知識が分かりやすく示されている。簡単な調理や掃除のしかたなどが紹介されており、自立を促すきっかけとなる。
	C	新・こどもクッキング	高橋 敦子	女子栄養大学出版部	1,600	作り方の絵が分かりやすい。手順が簡単で、自分で基本的な食事を作ることができる。巻末の用語集、栄養価一覧など資料も豊富で、発展的な学習にも使うことができる。
	C	みぢかなかがくシリーズ 町の水族館・町の植物園 ーさかなやさんとやおやさんー	小林 亜里	福音館書店	1,300	魚や野菜がイキイキと描写されている。買い物や調理を通して、身近なものとして捉えられるように工夫されている。
	C	子どものマナー図鑑(3)でかけるときのマナー	峯村良子	偕成社	1,500	日常生活の中で、外出する際のマナーを学ぶことができる。「病院」や「ともだちの家」などの具体例があるため、生徒が理解しやすい。

平成30年度使用一般図書(特別支援学校用) 小学部 報告書

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
国 語	A	コロちゃんはどこ?	エリック=ヒル	評論社	1,200	母犬が、子犬を探す展開。見開きで1ページずつ仕掛けがあり、開いていくといろいろな動物が隠れている。「・・のなかかな」「・・のしたかな」などのシンプルな文で統一され、文字も大きくて見やすい。
	A	うたってかいてけせるえほん1 音のでるえかきうた	株式会社みつとめるへん編集	ポプラ社	1,880	ボタンを押すと8種類の絵かき歌が流れ、付属のペンで線書きができるようになっている。見る、聞く、書くなどして楽しむことができる。
	A	はらぺこあおむし	エリック・カール	偕成社	1,200	カラフルな色使いで、興味関心を引きやすい。曜日や数などを盛り込んだストーリーとなっている。指が入る穴が空いていて、ページがめくりやすい。
	B	あっちゃんあがつくたべものあいうえお	さいとうしのぶ	リーブル	1,800	「あっちゃん、あがつくアイスクリーム」「いっちゃん、いがつくいちごじゃむ」などと、歌ってうれしくなるようなはやし歌と、おいしそうで、においまでしてきそうな絵を見て楽しむことができる。
	B	ひらがなカード	くもん出版	くもん出版	1,200	大きな文字で見やすく、楽しみながらひらがなを学ぶことができる。
	B	あいうえおえほん	とだこうしろう・ひろし	戸田デザイン研究所	1,800	見開きで平仮名の文字と絵が一つずつ載っており、シンプルで、文字と音が結びつきやすい。筆順も示されており、子どもの発達段階に応じて使用することができる。
	B	やさしいひらがな1集	くもん出版	くもん出版	660	系統的に、平仮名清音45文字を学習できる。言葉と平仮名を組み合わせ覚えて覚えることができる。シールや表彰状も付いている。
	C	書かたカード「ひらがな」	くもん出版	くもん出版	1,300	はっきりとした色で見やすい。筆順が示しており、線に沿ってなぞる学習にも活用できる。カード形式のため、児童に応じて必要なカードを選択して使用することができる。ペン付き。
	C	月曜日は何食べる? -アメリカのわらべうた	エリック・カール	偕成社	1,200	鮮やかな色彩、ダイナミックな構図で、曜日ごとに様々な動物や食べ物が登場する。わらべうたを元に行っているため、リズムカルな繰り返しが多い。わらべうたの楽譜付き。
	C	かいてけしてまたかける あいうえお	うだわさちこ	ジュラ出版局	1,500	本に直接書ける赤と黒のペン付き。最初に運指のページがあり、思わず書き込みたくなるような楽しい絵の中に四角があり、その中にひらがなを書くと言葉が完成する。書いて、消して...を繰り返しているうちに、五十音や言葉に親しめる。
C	よみかた絵本	とだこうしろう	戸田デザイン研究所	1,800	見開きで一文字を取り上げ、五十音順に平仮名、片仮名、その文字を使った言葉とリズムカルに読める文章が掲載されている。絵も明るく分かりやすい。	
C	ぐりとぐら	中川李枝子	福音館書店	900	双子の野ねずみ「ぐり」と「ぐら」が、森で大きな卵を発見しカステラを焼くまでのストーリーとなっている。様々な動物たちも登場する。実際に調理活動につなげることも可能である。	

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
生 活 (社 会)	A	けんちゃんとおそぼう 3 まねっこまねっこ	くろいけん	あかね 書房	1,000	主人公が動物の鳴き声を真似ると、その動物が出てくる話。物語を読み進めることで、鳴き声遊びやまねっこ遊びに発展させることができる。
	A	けんちゃんとおそぼう 1 のってのって	くろいけん	あかね 書房	1,000	服装や擬音語で、主人公が次に乗る物を想像させてから乗り物の絵が出てくる構成となっており、ページをめくる楽しみがある。繰り返し言葉も多く、親しみやすい文章となっている。
	A	いいおへんじできる かな	きむらゆう いち	偕成社	680	ページをめくると様々な登場人物が「はい」と返事をしている場面になり、自然に手を上げて「はい」と返事をする練習ができる。
	A	かおかおどんなかお	柳原良平	こぐま 社	800	笑った顔、泣いた顔、怒った顔など、ページをめくると様々な表情の顔が描かれている。デフォルメされた切り絵で表現された顔は、色や形を楽しむこともできる。
	B	生活図鑑カード 生 活道具カード	公文	くもん出 版	900	生活に身近な道具について、実物に近い鮮やかな絵で描かれている。カードの裏には、大きな文字で道具名が書かれているため、子供に応じて必要なカードを選択し、文字の読み書きや道具名の理解など、様々な学習に活用できる。
	B	でんしゃでいこう で んしゃでかえろう	間瀬なおたか	ひさか たチャイルド	1,000	「デデン・ドドン」というリズムカルな言葉とともに、線路がトンネルの穴で次ページにつながっていく。また、最後まで読み進めると、最後のページから最初のページへと逆に戻ることができ、電車に対する児童の興味を引く。ページごとに季節や風景が移り変わる様子にも目を向けることができる。
	B	はっけんずかん のりもの 改訂版	LaZOO	学研 マーケ ティング	1,980	はたらく車、電車、飛行機、船など、乗り物の写真と絵が豊富に掲載されている。乗り物の内部をのぞくことができる仕掛けも、子どもの興味を引き付ける。
	B	かばくん・くらしのえ ほん1 かばくんのい ちにな	ひろかわさえ こ	あかね 書房	1,000	登場人物がユーモラスに描かれていて、子どもの関心を引き付けるとともに、規則正しい生活への意識付けに有効な内容になっている。
	C	生活図鑑カード お 店カード	公文	くもん出 版	900	B6版カード32枚で、図書館、郵便局、銀行、交番、消防署、病院、薬屋、靴屋、クリーニング店、おもちゃ屋、八百屋、肉屋、パン屋、コンビニ、スーパーなど、児童の日常生活に身近な物や事からの名前や意味を覚えることで、生活知識が広がる。
	C	新版ふしぎ・びっく り！？ こども図鑑8 きせつ	志村 隆	学研 マーケ ティング	1,900	四季の季節行事が、身近な動植物とともに、写真とイラストで紹介されている。家庭生活から学校・地域での活動まで幅広く取り上げられ、様々な段階の子どもが楽しむことができる。
C	あたらしい関西ので んしゃずかん	松本典久	小峰書 店	980	関西のJRを始め、JR環状線、近鉄、阪急の人気電車の写真が盛りだくさんに掲載されている。それぞれの電車の特徴が書かれており、漢字にはルビが振ってある	

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
算 数	A	五味太郎の絵本10 かたち	五味太郎	絵本館	800	シンプルな構図と描写で、まる・さんかく・しかくのかたちが、いろいろなキャラクターになって登場する。まるいおとこのこ、さんかくの魔女など、かたちの特徴をとらえやすく表わしている。
	A	あかちゃんとおかあ さんの絵本 パティ ちゃんのまる・さんか く・しかく	わらべきみか	金の星 社	780	身近な動物や道具などを、丸、三角、四角の3つの形に当てはめ、絵とともに、形を印象づけるリズムカルな文で表現されている。明るい色彩のはっきりした絵で、3つの形について、興味・関心を高めることができる。
	A	さわってあそぼうふ わふわあひる	M・ヴァン・フ リート	あかね 書房	1,300	擬音とともに、ふわふわ、でこぼこなどの様々な感触を楽しむことができる仕掛け絵本。素材の粹組みが丸、三角、四角と基本的な図形になっており、形への興味をもたせることができる。
	B	でこぼこえほん か ずをかぞえよう	グザビエ・ドゥ ス	小学館	1,200	1～10までの数が1ページごとに表示されている。数える物が飛び出していたり、数字がへこんでいたりしているため、視覚に障がいがあっても指で確認しながら数字を覚えることができる。
	B	こぐまちゃん絵本別 冊 さよならさんかく	わかやまけん	こぐま社	800	「さよならさんかくまたきてしかく…」おなじみの言葉遊びで身近な食べ物や動物などを題材にし、形や色、長さなどをリズムカルに展開していく。四角のページでは四角い形の物がたくさん描かれるなど、概念形成によい。色合いがはっきりしていて見やすい。
	B	くまたんのはじめてシ リーズ おいしいおい しい1・2・3	長野 博一	小峰書 店	952	数に対応した食べ物の絵で構成されている。本を開くと、左側に数字、右側には数字に対応した絵が描かれている。
	B	こえでおぼえる123 かずのえほん	さかもとみつ や	ポプラ 社	2,000	おけいこシート(おはじき付き)とペンでたのしく数の学習ができる。物の数や時計の読み方をしっかり覚えることができる。
	B	くもんの はじめての おけいこ	くもん出版	くもん出 版	660	鉛筆を使って上から下、曲線やジグザク、交差する線など、順を追って学習ができる。線を引く幅が次第に狭くなり、文字や数を書くための基本を身に付けることができる。
	C	音の出る知育絵本1 6 とけいがよめるよう になる!!とけいくん	奥村 傳	ポプラ 社	1,800	自分で時計の針を〇時〇分に合わせ(5分単位)、音声で確認できる。指示された時刻に合わせるゲームもあり、楽しんで学習できる。
	C	ゆっくり学ぶ子のた めの「さんすう」2	江口 季好 村上 直樹	同成社	1,100	1～5までの数を扱う。1対1対応で数える、物の集まりの大きさとしての数の意味、5までのたし算などを学習する。ワークブックとして、書き込みながら学習を進めることができる。
	C	かずのほん1 どっち がたたくさん	遠山啓	童心社	1,300	物を数える前段階として、一対一対応と集合遊びをシンプルな絵と状況で展開している。具体物を数えるなど数の概念を学ぶ前段階のの学習に役立つ。
	C	とけいカード	くもん出版社	くもん出 版社	1,200	〇時、〇時半などの時刻が、時計の絵と文字で見やすく掲載されている。カード式で使いやすく、自分の生活と照らし合わせながら、時計への関心を高めることができる。
C	とけいのえほん	とだこうしろう	戸田デ ザイン 研究所	1,500	一日のうちの各正時を告げる時計が、その時間帯の様子をイメージさせる絵とともに描かれている。自分の生活と照らし合わせながら、時計への関心を高めることができる。	

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
	C	1から100までのえほん	たむらたいへい	戸田デザイン研究所	1,600	たくさんの動物が登場し、視覚的に大きな数をとらえたり、指で数えたりすることができる構成になっている。
算数	C	かずカード	公文 公	くもん出版社	1,000	1～50までの数字がカード一面に大きく印刷されていて見やすい。裏面には同じ数のドットが印刷されており、指でドットを押さえながら数唱することができる。「数字を数える」「数と量の関係」「数字の順番」などの数の基礎を身に付けることができる。
生活(理科)	A	かがくのとも絵本 みんなうんち	五味太郎	福音館書店	900	いろいろな動物とそのうんちの絵がたくさん載っている。へびのおしりの場所？など想像力をふくらませる仕組みもある。人間についても、成長に応じてうんちの仕方が変わることを、後始末の方法やうんちをする理由を絵で説明しており、楽しみながら排せつへの関心をもたせ、体の仕組みに興味をもつことができる。
	A	幼児絵本シリーズ くだもの	平山和子	福音館書店	900	10種類のおいそうな果物が、見開き1ページに1種類ずつそのままの絵とカットして食べられる形になった絵で描かれている。リアルな絵と「さあ、どうぞ」という言葉で食べたくなり、子どもが関心をもちやすい。
	A	メロディえほん ICピアノえほん 四季のどうよう 12カ月	わくはじめ	大日本絵画	2,000	色がついたピアノ鍵盤のボタンを押すと、動物や自然をテーマにした童謡12曲の音を鳴らして楽しむことができる。カラオケに切り替えるスイッチがあり、学習場面に応じて使い分けができる。
	A	ひとりでうんちできるかな	きむらゆういち	偕成社	680	怪獣などのキャラクターがトイレで踏ん張る様子が可愛く描かれている仕掛け絵本である。排泄や手洗いなどの習慣を楽しく学ぶことができる。
	B	幼児絵本シリーズ やさい	平山和子	福音館書店	800	写実的で優しいタッチの絵で、野菜と畑の様子が描かれている。食べ物である野菜について、植物としても興味を喚起される。
	B	どうよううたの絵本②	今井亜美	永岡書店	1,600	指で押すと童謡16曲が、歌バージョンとカラオケバージョンの2種類で演奏される。絵本の部分は、楽譜や読みやすい歌詞、可愛いイラストが描かれている。
	C	写真でわかるなぜなに1 どうぶつ	今泉忠明	世界文化社	1,165	23種類の動物について、疑問に答える形で生態を紹介している。分かりやすい写真を豊富に使い、動物の特徴や生態が説明されており、動物について学習を深めることができる。
	C	ふしぎをためすかがく図鑑 しぜんあそび	水野丈夫	フレーベル館	2,000	身近な草花や昆虫、石や雲などを使った遊びが、鮮やかな写真とイラストで紹介されている。子どもの興味を引きやすく、掲載内容と同じ遊びを容易に試してみることができる。
	C	やさしいからだのえほん1 からだのなかはどうなっているの？	せべまさゆき	金の星社	1,200	体のつくりや働きが、イラストと平易な言葉で分かりやすく説明されている。イラストの表情や動作は、ユーモラスで子どもの興味を引く。

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
	C	かがくのとも絵本 たべられるしょくぶつ	森谷憲	福音館書店	900	すいか、にんじん、なす、さつまいも、えんどうまめ、ねぎなど、身近な野菜の成長過程を実物のように描いている。わたしたちが野菜の葉、茎、実、たね、根など、いろいろな部分を食べているのだということを興味深く教えてくれる。学級園での栽培活動にも生かせる。
生活 (理科)	C	福音館の科学シリーズ 昆虫ちいさななかまたち	得田之久	福音館書店	1,500	美しくリアルな絵でたくさんの昆虫が描かれている。昆虫の生態を知ることができる図鑑。季節・住む環境(草・林・水)・食べるもので昆虫を分けているので分かりやすく、虫に対して親近感もてる。
図 画 工 作	A	みるみる絵本 もこもこもこ	たにかわしゆんたろう	文研出版	1,300	「もこもこ」「つん」などの擬音、シンプルで色鮮やかな絵がページいっぱい描かれている。ぬたくりやなぐり描きなど、ダイナミックな造形活動の導入としても楽しむことができる。
	A	6つの色	とだこうしろう	戸田デザイン研究所	1,080	丸い色だけのシンプルなイラストで描かれている。赤・青・黄の基本の色と、それらを混ぜ合わせると違う色になっていく様子が、ストーリーになっている。
	A	このいろいろなに	せなけいこ	金の星社	780	お化けやうさぎ、ルルちゃんなどのキャラクターがきれいな貼り絵で描かれている。ページすべてに色が付いていて、見ていて楽しめる。
	B	あそびのおうさまBOOK めって	LaZOO	学研	900	きれいな色のイラストの上に自由に描いたり塗ったりして、絵本を完成させる構成になっている。楽しく遊びながら児童の創作意欲を高め、創造力を育むことができる。
	B	あそびのおうさまBOOK はじめてぬるほん	真当哲博	学研マーケティング	850	カラーの絵の上に自由に描いたり塗ったりして、絵本を完成させる構成になっている。約80ページに様々な絵が描いてあり、児童の創作意欲を高め、創造力を育むことができる。
	B	あそびのおうさまBOOK はじめてきるほん	LaZOO	学研マーケティング	850	自由にページを切ったり破いたりして、絵本を完成させる構成になっている。カラーの親しみやすいデザインは児童の興味を引きやすく、ちぎることから、はさみ、のり、テープの使い方まで学習することができる。
	B	あそびのひろば8 らくがきあそび	長島 克夫	ポプラ社	1,200	1本のクレヨンの線からイメージを広げながら、次々と描かれていく絵が楽しく、描くことへの興味を高めることができる。
	B	くまさんくまさんなにみてるの	エリック・カール	偕成社	1,000	見開き2ページにわたってカラフルな動物が描かれている。動物たちと子どもの間に次々と楽しい会話がつながっていく展開が楽しい絵本である。
	C	ぬったりかいたりらくがきBOOK	五味 太郎	チャイルド本社	1,500	約200ページにわたり、色を塗ったり線をかき込んだりできるようになっている。一部が欠けた絵を完成させるページもあり、児童の興味を引く。
C	あそびのひろば1 はんがあそび	椎野利一	ポプラ社	1,200	木の葉1枚に絵の具を塗って刷るだけで版画ができる。大きさや種類の違う木の葉を組み合わせれば、魚や鳥に見えてくる。ピーマンやハス、ネギなど身近な野菜を使っても面白い版画ができあがる。身近な素材から発想をふくらませ、造形遊びを手助けしてくれる題材がたくさん紹介されている。	

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
	C	わたしだけのはらぺこあおむし(ぬりえ絵本)	エリック・カール	偕成社	1,000	なじみのある絵本が塗り絵になっており、自分が好きな色を塗って完させることができる。クレヨンやマジック、絵の具など、道具を選ぶ楽しさも感じることができる。
生 活(家 庭)	A	五味太郎の絵本 わにさんどきっはいしゃさんどきっ	五味 太郎	偕成社	1,000	ワニ(患者)と歯医者(人間)とのユーモラスなやりとりが楽しい。繰り返しの言葉遊びで楽しく読みながら、歯磨きの大切さについて関心を高めることができる。
	A	ともだちだいすき2 おべんとうなあに?	山脇 恭	偕成社	1,000	ページをめくると、次々とおいしそうなお弁当があらわれる仕掛け絵本。話の展開が分かりやすく、登場する動物の絵も親しみやすく、児童の心を引き付ける。
	A	はみがきしゅわしゅわ	わらべきみか	ひさかたチャイルド	800	おやつあとの歯磨きの様子を可愛いイラストと文で紹介している。登場するキャラクターごとに歯ブラシの色が違い、色や長い、短いなどを覚えるきっかけにもなる。
	B	かばくん・くらしのえほん1 かばくんのいちにち	ひろかわさえこ	あかね書房	1,000	身近な日常生活動作が取り上げられていて、自分の生活と重ね合わせながら、規則正しい生活への意識付けを図ることができる。絵は、かばくんがユーモラスに描かれており、児童の心を引き付ける。
	B	生活図鑑カード たべものカード	高橋 敦子	くもん出版社	900	31品の身近な料理が、実物に近い色鮮やかな絵で描かれている。裏面には、料理名が記されている。丈夫なカードで、繰り返して学習に活用することができる。
	B	たべもの202	秋吉 文夫	ひかりのくに	1,200	202品の食べ物の写真が掲載されている。五十音にまとめられていて、料理名や食品名について学習することもできる。
	C	新装版KIDS2112たべものひやっか	岡田 克也	ひかりのくに	850	おいしそうなお食べ物がたくさん描かれている。その中でキッズはかせたちが、好き嫌いをしたりインスタント食品や甘い物を食べ過ぎたりするとどうなるか、案内してくれる展開である。食べることの大切さや楽しさに気づかせてくれる。
	C	こどものずかん Mio 10 たべもの	加藤 典康	ひかりのくに	762	調理過程や材料との関連なども含め、たくさんの食べ物の写真が紹介されている。写真を見て楽しんだり、食べ物の名称を学習したりするだけでなく、食に関する多様な学習に活用することができる。
	C	安全のしつけ絵本(1) きをつけようね	てらおかくにお てらおかくこ	偕成社	1,200	横断歩道、踏切、車の下、坂道など、身の回りがある場所での危険な行動について取り上げている。見開き1ページ目に「〇〇して大丈夫かな?」と問い掛け、ページをめくると「〇〇してはいけないよ」と教えてくれる構成で、児童が自分で考えたり想像したりして安全に意識を向けられるようになっている。親しみやすい動物の挿絵で、児童が関心をもちやすい。
	C	たべるのだいすきみんなげんき	吉田隆子	金の星社	1,300	元気の素を作る食べ物を4つの色に分けて、栄養や体への働きやバランスのよい食事を摂るといいうんちが出ることを、イラストや文で紹介している。

平成30年度使用一般図書(特別支援学校用) 中学部用 報告書

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
国 語	A	五味太郎のことばと かずの絵本 ことば のあいうえお	五味 太郎	岩崎書 店	1200	大きな文字と絵で見やすい。「あっ!」「いた い!」「うまいうまい」など、普段の日常生活で発 せられる話し言葉がたくさん載っている
	A	ことばえほん	土田義晴	グランま ま	1,700	生活動作や日常的なあいさつなどが、絵と単語 で書かれている。絵を見て楽しんだり、実際に動 作化したりしながら、言葉への関心を高めること ができる。
	A	くまたんのはじめてシ リーズ よめるよよめ るよあいうえお	長野 博一	小峰書 店	1,200	あいすくりーむの「あ」。えほんの「え」。おりがみ の「お」など、子どもの好きな食べものやあそび 道具が登場し、親しみをもちながら文字への関 心を高めることができる。
	A	ママとうたおう やさ しいメロディーピアノ	永岡 修一	永岡書 店	1,981	かえるのうた、ぞうさん、チューリップなどの定 番からサザエさん、ドラえもん、アンパンマンな どの歌まで幅広く39曲の楽譜とピアノがついて いる。本を開いたらすぐピアノが弾くことができ る。
	B	もじのえほん かたかなアイウエオ	やまもとみりひ さ	あかね 書房	1,500	見開きで片仮名の文字と絵が1つずつ載ってい る。シンプルで文字と音が結びつきやすい。文 字が大きく書いてあるので、なぞりながら学習す ることもできる。
	B	書き方カード 「ひらがな」	公文公	くもん出 版	1,300	はっきりとした色で見やすい。筆順が示してあ り、線に沿ってなぞる学習にも活用できる。カー ド形式のため、生徒に応じて必要なカードを選 択して使用することができる。
	B	かいてけしてまたか ける あいうえお	うだがわさち こ	ジュラ 出版局	1,500	付属のホワイトボードマーカーを使って、絵本に 直接線を書く、文字をなぞる、文字を入れるな ど、段階を追って学習に取り組める。親しみやす いイラストやはっきりした色で興味をもちやす い。何度も繰り返して使うことができる。
	C	もじのえほん あいう えお	やまもとみりひ さ	あかね 書房	1,500	文字が大きくて見やすい。楽しい絵とリズムカ ルな文がたくさん載っており、生徒の興味を引き やすい。
	C	五味太郎のことばと かずの絵本 漢字の 絵本	五味 太郎	岩崎書 店	1,200	文字が大きくて見やすい。漢数字のほかにも、 朝、昼、大きい、小さいなど、生活に身近な漢 字が大きな絵で示されている。
	C	親子でうたう英語のう たの絵じてん	なし	三省堂	1,700	童謡、クリスマスソングからフォークソング、 ポップスまで、やさしい英語のうた25曲を紹介 している。英文、訳詞、解説をイラストと一緒に 楽しめる。あそびうたには振り付けのイラストが 付いている。
C	和英えほん	戸田幸四郎	戸田書 店	1,300	1ページに5つずつの英語の言葉がイラストと一 緒に紹介されている。鮮やかな色合いで、素朴 で親しみやすいイラスト・分かりやすく美しい書 体。説明などはなくシンプルな構成なので、分か りやすくページをめくって遊びながら英語に親 しむことができる。	

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
生活 (社会)	A	はっけんずかんのりもの改訂版	小賀野実	学研マーケティング	1,980	きれいな写真と絵で、生徒が大好きな乗り物を掲載している。車の中の様子や用途について、楽しい仕掛けを使って紹介し、生徒の興味を引く。
	A	生活図鑑カード 生活道具カード	公文 公	くもん出版	900	生活に身近な道具について、実物に近い鮮やかな絵で描かれている。カードの裏には、大きな文字で道具名が書かれているため、生徒に応じて必要なカードを選択し、文字の読み書きや道具名の理解など、様々な学習に活用できる。
	A	マナーやルールがどんどんわかる！みぢかなマーク新装改訂版	ハマダルコラ	ひかりのくに	1,200	お菓子のマークや都道府県のマーク、ご当地キャラも新たに加わって、野球・サッカーのチームのマーク、トイレやレストラン、郵便局のマーク、道路標識などをたくさん集めた絵本である。
	B	子どもとマスターする49の生活技術 イラスト版手のしごと	谷田貝公昭	合同出版	1,942	箸の使い方、タオルの絞り方などの生活技術の基本を学ぶことができる。イラストを交えて、衣・食・住生活、勉強・遊びで使う道具や用具の正しい持ち方・使い方を、身に付けることができる。
	B	ぼくとわたしのせいかつえほん	つちだよしはる	グランまます社	1,500	家族、花、食べ物、動物、乗り物、身の回りの物まで188の絵が掲載されている。絵本と実物を見比べたり、生活の中から探したりするきっかけ作りができる。
	B	フレーベル館の図鑑 ナチュラ はるなつあきふゆ	無藤 隆	フレーベル館	1,900	季節ごとに自然や行事、遊びなどを写真や絵で紹介。四季の移り変わりや各々の季節の特徴を感じられる。
	C	子どもの健康を考える絵本(5)こんなときどうするの？	高田 芳朗	偕成社	1,200	鼻血がとまらないときや、やけどをしたときなど、子どもの身近で起こる事故や、けがへの正しい処置のしかたを解説した救急絵本である。
	C	ドラえもんちずかん1 にっぽんちず	嶋津 睦	小学館	1,500	日本の形や各地方の特徴を詳しく調べることができる。日本の鉄道、お祭り、動物や昔から伝わるおばけなどのコーナーがあり、ドラえもんやその仲間と一緒に楽しく学ぶことができる。
	C	ドラえもんちずかん2 せかいちず	嶋津 睦	小学館	1,500	世界の国々や都市の名称や位置について、イラストや写真で分かりやすく描いている。ドラえもんの絵を使うことで、生徒の興味・関心をより一層引き出す。
	C	しごとば	鈴木のりたけ	ブロンズ新社	1,700	すし職人や美容師など9つの職業の仕事場や仕事で使う道具、仕事内容などが、イラストと文字で分かりやすく描かれている。各職業に興味をもって見る事ができる。
C	生活図鑑カード お店カード	公文 公	くもん出版	900	B6版カード32枚で、図書館、郵便局、銀行、交番、消防署、病院、薬屋、靴屋、クリーニング店、おもちゃ屋、八百屋、肉屋、パン屋、コンビニ、スーパーなど、児童の日常生活に身近な物や事からの名前や意味を覚えることで、生活知識が広がる。	
数 学	A	ブルーナーのアイディアブック ミッフィーの1から10まで	ディック・ブルーナー	講談社	750	数に関する内容を、生徒の興味・関心を引く絵や色使いで表現している。ページがインデックス形式になっており、生徒がめくりやすい。また、丈夫なつくりになっている。

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
	A	あかねえほんシリーズ かたちのえほん まる・さんかく・しかくさん	やまもとりひさ	あかね書房	1,500	いろいろなタイプの丸、三角、四角がキャラクターとなり、はっきりした色で示されている。絵本をめくりながら、基本的な図形の学習をすることができる。
	B	認識絵本5 いくつか	多田ヒロシ	ひかりのくに	1,200	物の数、順番、量、長さなど、数量に関する幅広い学種ができる。絵も見やすく、生徒の興味を引きやすい。
	B	デコボコえほん かずをかぞえよう!	グザビエ・デュヌ	小学館	1,200	各ページに数字と同じ数のボタンがデコボコ飛び出ている、さわって感じながら楽しめる。数えるものが飛び出していたり、数字がへこんでいたりするので、指でなぞりながら、数を数えて、数字を覚えられる。
	B	かずカード	公文 公	くもん出版	1,000	カードの表面の1から50までの数字と裏面の●(ドット)を対応させながら生徒と一緒に数を唱えることで、数をかぞえる力や、数字の並び、数と量の関係などの数の基本を身につけることができる。
	B	スキンシップ絵本 かずのえほん	わらべきみか	ひさかたチャイルド	1,600	見開きごとに、一つの数字について展開する構成となっている。シンプルで分かりやすく、色もきれいだ。数字や絵が大きく描かれており、指でなぞったり数えたりすることができる。
	B	三省堂 こどもかずの絵じてん	八幡 藤厚	三省堂	1,400	1～100までの数字や物の数え方が、写真やイラストで描かれており、楽しく読みすすめることができる。「匹」「枚」などの助数詞も数多く掲載されている。「10までのかず」では、「合わせていくつ」「のこったのはいくつ」など、足し算引き算に発展する学習もできる。
	C	はとのクルックのとけいえほん	たちのけいこ	くもん出版	1,400	親しみやすい動物たちが出てきて、お話にそって時計の針を動かしながら、何時何分の学習をすることができる。文字盤には、1～59までの目盛りがついている。
	C	ひとりだちするための算数・数学	千代田義明	日本教育研究出版	1,600	電車に乗る、買い物をする、時間を守るなど卒業後の実生活に必要な算数・数学を学ぶことができる。イラスト満載で子供たちの興味を引き付け、読みやすく書き込みやすく、どこからでも学べ、繰り返し学習することができる。
	C	とけいのえほん	とだこうしろう	戸田デザイン研究室	1,500	一日のうちの時刻に応じて、朝昼晩の生活のイラストとともに時計が示されている。自分の生活と照らし合わせながら、時計の学習をすることができる。
	C	音のでる知育絵本16 とけいがよめるようになる!! とけいくん	柏原 晃夫	ポプラ社	1,800	時計の針を動かして時計の読み方を学べる。ボタンを押せば、5分刻みに針のさしている時間を音声で伝える。さらに、「とけいあわせゲーム」で遊んで、楽しみながら時計に親しむことができる。
	C	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」3 (6～9の足し算、引き算、位取り)	江口季好、村上直樹	同成社	1,100	6～9の足し算、引き算、位取りの学習ができる。ワークブックとして、書き込みながら学習を進めることができる。1ページに掲載する問題が少なく、見やすくできている。
生活(理)	A	幼児絵本シリーズ やさいのおなか	きうち かつ	福音館書店	1,000	身近な野菜の断面が「これなあに」のクイズで表現されている。断面が白黒とカラーの二種類でシンプルにデザインされていて、色もきれいで、野菜に関心をもち、切ってみたくなる。

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
生活(理科)	A	ほんとおおきき動物園	小宮輝之	学研	1,500	動物の顔が実物大の写真で掲載されているため、生徒が興味・関心もちやすい。また、ページ数も多適切で、生徒が容易に読むことができる。
	B	改訂新版体験を広げるこどもずかん4 はなとやさい・くだもの	牧野 公男	ひかりのくに	1,000	精密なイラストで植物のしくみを解説している。アサガオなどの花、庭の樹木、そしてミカンなどの果物、野菜、穀物、キノコを興味深く分かりやすく説明している。
	B	昆虫とあそぼう	戸田 幸四郎	戸田デザイン	1,300	身近な26種類の昆虫をわかりやすく紹介している。実物の大きさが伝わる、リアルながら素朴で暖かみのあるイラストと手書き文字で、親しみやすい。
	B	ふしぎをためすかがく図鑑 しょくぶつのさいばい	水野丈夫 肥土邦彦	フレール館	2,000	生活科や総合学習に役立つ基本図鑑。庭の草花約80種、野菜約40種の栽培方法がくわしく分かりやすく紹介されている。
	C	改訂新版体験を広げるこどもずかん9 からだとけんこう	牧野 公男	ひかりのくに	1,000	人の体の仕組みが、図で分かりやすく示されている。説明文も簡潔で分かりやすい。人間の体について、興味を引く内容が多く掲載されている。
	C	ふしぎをためすかがく図鑑 かがくあそび	水野丈夫 村松伸弘	フレール館	2,000	身近な材料を使った科学遊びを紹介している。写真やイラストを使って、分かりやすく実験の様子が説明されている。
	C	かいかたそだてかたずかん4 やさいのうえかたそだてかた	小宮山 洋夫	岩崎書店	1,500	身近な野菜の育て方が、手順を追って絵で示されている。野菜が育っていく過程や収穫の様子を知ることができ、生徒が楽しみながら学習することができる。
	C	こどものずかん Mio12 きせつとしぜん	村上康成	ひかりのくに	762	季節と自然に関する図鑑。クイズなどを収録し、楽しみながら理解を促すように構成されている。
C	絵本図鑑シリーズ12 のはらのずかん	長谷川哲雄	岩崎書店	1,400	庭や野原に生息する植物や昆虫が、リアルなイラストで描かれている。身近に生えている植物の環境や種類を知ることができ、自然を知る手がかりとなる。	
美術	A	あそびのおうさま BOOKぬって	La Zoo	学研	900	129ページにわたり、色をぬったり線を書き込んだりできるようになっている。子どもが書き込んだ線や点でイラストが完成される構成になっていて、楽しみながら伸び伸び描くことができる。
	A	ぴんきいしろつぷちゃん のらくがきえほん あそぼ!	久保たかし	ジュラ出版局	1,500	絵本の中に絵を描いて遊ぶ、ペン付き絵本。子ども達に表現する喜びや描いて遊ぶ楽しさを伝えやすい。描いた絵はティッシュで一拭きで消すことができる。
	A	クーとマーのおぼえるえほん1 ぼくのいろなあに	はたこうしろう	ポプラ社	880	物語が展開するにつれて、次々と洋服の色が変わっていく。身近な物と関連させて色を意識付けている。かわいい絵で、色もきれいなため、色への関心を高めることができる。
	B	エンバリーおじさんの絵かきえほん しもんスタンプでかいてみよう	エド・エンバリー	借成社	1,400	指紋のスタンプに簡単な線を書き足すだけで描くことができる親しみやすい絵が、たくさん掲載されている。きれいな色使いで、生徒の興味を引く。
	B	たのしい図画工作14 こすりだし・すりだし	羽場 徳蔵	国土社	1,800	造形活動の参考作品を豊富に紹介、授業で活用できる楽しいアイデアが満載である。葉っぱ、板など身の回りにある色々な物の表面に薄紙をあてて鉛筆などでこする「こすりだし」を楽しむ手法を分かりやすく解説している。

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
美術	B	あそびのおうさまBOOK はって	LaZOO	学研マーケティング	900	材料ページを自由に切って、好きなどところに貼って一冊の本を完成させることができる。子どもの自由な発想を大切に、小さなヒントから大きな世界が広がるように、色鮮やかで楽しいイラストなどの工夫がされている。
	B	ぬったりかいたりくがきBOOK	五味太郎	チャイルド本社	1,500	約200ページにわたり、色をぬったり線をかき込んだりできるようになっている。一部が欠けた絵を完成させるページもあり、児童の興味を引く。
	C	ハートアートシリーズ 色のえほん	早坂 優子	視覚デザイン	1,400	色についての知識を分かりやすく、楽しく説明してある。きれいな色たちが展開する7つのショートストーリーを読むことで、色彩の基礎を自然に学ぶことができる。
	C	あーとぶっく ひらめき美術館第1館	結城 昌子	小学館	1,750	ダ・ヴィンチの「モナ・リザ」から写楽、ピカソ、ゴッホ、ルノワールなどの世界の名画を鑑賞する部屋やピカソになったつもりで絵を描く部屋、小学生の作品が展示してある部屋など、30の部屋からなる。好奇心をくすぐりながら楽しく有名な絵画や彫刻を知ることができる。
	C	エリック・カールの絵本(ぬりえ絵本)ごちやまぜカメレオン	エリック・カール	偕成社	1,200	カメレオンが変身した動物たちに色をぬって楽しく遊べる絵本である。子どもの想像力を豊かにし、また、いろいろな技法を学習することができる。
	C	作ってみよう！リサイクル工作68	近藤 芳弘	成美堂出版	900	身近なペットボトルや牛乳パック、段ボールなどのリサイクル用品を利用した68種の楽しいアイデアと作品やオモチャを紹介している。それぞれに難易度がついており、使い方とともに実際の作り方を詳しく解説している。
生活(家庭)	A	生活図鑑カード たべものカード	高橋 敦子	くもん出版	900	実物に近い鮮やかな絵で、生徒の身近な食べ物がカードに1品ずつ描かれている。カードの裏には、食べ物の名前が書いてあり、食べ物の名前を書いたり覚えたりする学習に活用することができる。
	A	やさしいからだのえほん4 むしばはどうしてできるの？	小野 芳明	金の星社	1,200	歯の仕組み、虫歯になる原因と予防法などについて、写真やイラストで分かりやすく書かれている。
	B	かがくのとも傑作集 平野レミのおりょうりブックひもほうちょうもつかわな	平野レミ	福音館書店	900	調理の手間が少ない主食について、包丁や火を使わずに作る方法・手順について、イラストを交えて分かりやすく紹介している。材料も手順も少ない調理で、手軽に調理活動をすることができる。
	B	自立生活ハンドブック5 ぼなべていどうぞめしあがれ	副島 宏克	全日本手をつなぐ育成会	800	言葉での説明をなくし、調理手順がカラー写真で示され、調理する手元が大きく示されているため、生徒が理解しやすい。「朝食、昼食、夕食、おやつなど21種類の料理が紹介されている。
	C	ひとりのできるもん！5 すてきなおかし作り	平本 ふく子	金の星社	1,960	ホットケーキ、ドーナツ、蒸ケーキを初めとした、合計16品の定番のお菓子が紹介されている。調理の手順が絵や写真で説明されていて、分かりやすい。写真がきれいで興味を引く。

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	参考情報
	C	ひとりのできるもん！ 10 おしゃれなおかし作り	平本 ふく子	金の星社	1,960	チョコボールやヨーグルトケーキ、いちごムースなどおしゃれで、かわいいお菓子16品を紹介している。調理の手順が絵やきれいな写真で説明されていて、分かりやすい。
生活（家庭）	C	自立生活ハンドブック 8 食(しょく)	岩本真紀子・ 鈴木伸佳	全日本 手をつなぐ育 成会	900	番号順の写真を見ながら調理するだけで、18品のおいしいおかずを作ることができる。用具・材料・手順がカラー写真で示されており、分かりやすい。きれいでおいしそうなお写真に興味をもち、自分で作ってみたいくなる。
	C	子どもの生きる力を 育てる せいかつの 絵じてん	内野 美恵	ナツメ社	1,800	「食べる」「着る」「暮らす」「楽しむ」というテーマごとにイラストや写真、説明文が詳しく書かれている。社会自立に向けた内容が多く取り入れられている。
	C	坂本廣子のひとりで クッキング2 昼ごはんつくろう	坂本寛子	偕成社	1,400	米・麺を使った料理が、イラストと説明文で描かれている。作り方が分かりやすく、1人で作ることができる。準備や片付けの仕方、安全面への注意も盛り込まれている。
	C	げんきをつくる食育え ほんたべるのだいす き	吉田 隆子	金の星社	1,300	「げんきのもととはたべもの」「いいうんち(ばなな)を出すためにはバランスの良い食事をとることが大切」ということを、かわいいイラストで紹介している。「あか」「きいろ」「しろ」「みどり」の食品群についても分かりやすく書かれている。

議案第14号

新潟市教育委員会組織規則の一部改正について

新潟市教育委員会組織規則の一部改正について、次のとおりとしたいため、議決を求める。

平成29年7月21日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

新潟市教育委員会組織規則の一部改正について

1 改正理由

平成29年8月14日付中央区役所の移転により、中央区教育支援センターの所在地に変更が生じることによるもの。

2 改正内容

中央区教育支援センターの位置を、「新潟市中央区学校町通1番町602番地1」から「新潟市中央区西堀通6番町866番地」に改める。

3 施行期日

平成29年8月14日

新潟市教育委員会組織規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成29年7月 日

新潟市教育委員会

教育長

新潟市教育委員会規則第 号

新潟市教育委員会組織規則の一部を改正する規則

新潟市教育委員会組織規則（平成19年新潟市教育委員会規則第6号）の一部を次のように改正する。

第19条の3の表中央区教育支援センターの項中、「新潟市中央区学校町通1番町602番地1」を「新潟市中央区西堀通6番町866番地」に改める。

附 則

この規則は、平成29年8月14日から施行する。

新潟市教育委員会組織規則(平成19年教育委員会規則第6号)新旧対照表

改正後（案）	現行	備考																								
<p>○新潟市教育委員会組織規則 第9節 教育支援センター (教育支援センターの名称等)</p> <p>第19条の3 教育支援センターの名称，位置及び所管区域は，次の表に定めるとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="241 544 985 852"> <thead> <tr> <th>教育支援センターの名称</th> <th>位置</th> <th>所管区域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(略)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中央区教育支援センター</td> <td>新潟市中央区<u>西堀通6番</u> <u>町866番地</u></td> <td>中央区の区域</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	教育支援センターの名称	位置	所管区域	(略)			中央区教育支援センター	新潟市中央区 <u>西堀通6番</u> <u>町866番地</u>	中央区の区域	(略)			<p>○新潟市教育委員会組織規則 第9節 教育支援センター (教育支援センターの名称等)</p> <p>第19条の3 教育支援センターの名称，位置及び所管区域は，次の表に定めるとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1090 544 1834 852"> <thead> <tr> <th>教育支援センターの名称</th> <th>位置</th> <th>所管区域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(略)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中央区教育支援センター</td> <td>新潟市中央区<u>学校町通1</u> <u>番町602番地1</u></td> <td>中央区の区域</td> </tr> <tr> <td>(略)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	教育支援センターの名称	位置	所管区域	(略)			中央区教育支援センター	新潟市中央区 <u>学校町通1</u> <u>番町602番地1</u>	中央区の区域	(略)			
教育支援センターの名称	位置	所管区域																								
(略)																										
中央区教育支援センター	新潟市中央区 <u>西堀通6番</u> <u>町866番地</u>	中央区の区域																								
(略)																										
教育支援センターの名称	位置	所管区域																								
(略)																										
中央区教育支援センター	新潟市中央区 <u>学校町通1</u> <u>番町602番地1</u>	中央区の区域																								
(略)																										

議案第15号

新潟市教育委員会公印規則の一部改正について

新潟市教育委員会公印規則の一部改正について、次のとおりとしたいため、議決を求める。

平成29年7月21日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

新潟市教育委員会公印規則の一部改正について

1 改正理由

平成29年8月14日付中央区役所移転に伴う組織改正により、これまで中央区役所区民生活課が行っていた入学通知書の交付を、中央区役所窓口サービス課が行うこととなり、その際に使用する新潟市教育委員会印の保管場所に変更が生じることによるものの他、必要な文言の修正を併せて行うもの。

2 改正内容

別表第1（第4条関係）

（2）専用公印

使用区分が入学通知に関する公文書に係る電子印用である新潟市教育委員会印（正方形24てん書）の保管場所について、「学務課，各区役所区民生活課及び出張所」を「学務課，各区役所区民生活課（中央区役所にあつては窓口サービス課）及び出張所」に改める。

使用区分が各教育支援センター所管事務及び区内の機関所掌事務で教育委員会教育長名をもってする公文書用である新潟市教育委員会教育長印（正方形24てん書）の管理者について、「〃」を「各教育支援センター所長」に改めるとともに、保管場所について、「〃」を「各教育支援センター」に改める。

3 施行期日

平成29年8月14日

新潟市教育委員会公印規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成29年7月 日

新潟市教育委員会

教育長

新潟市教育委員会規則第 号

新潟市教育委員会公印規則の一部を改正する規則

新潟市教育委員会公印規則（昭和44年新潟市教育委員会規則第5号）の一部を次のように改正する。

別表第1（2）の表中

「

”	” 24	”	入学通知に関する 公文書に係る電子 印用	学務課長	1	学務課，各 区役所区民 生活課及び 出張所	”
---	---------	---	----------------------------	------	---	--------------------------------	---

」

を

「

”	” 24	”	入学通知に関する 公文書に係る電子 印用	学務課長	1	学務課，各 区役所区民 生活課（中 央区役所に あつては窓 ロサービス 課）及び出 張所	1
---	---------	---	----------------------------	------	---	---	---

」

に改め，

「

新潟市教育委員会 教育長印	〃 2 4	〃	各教育支援センター 一所管事務及び区 内の機関所掌事務 で教育委員会教育 長名をもつてする 公文書用	〃	各 1	〃	2 5 の 5
------------------	----------	---	---	---	-----	---	------------

」

を

「

新潟市教育委員会 教育長印	〃 2 4	〃	各教育支援センター 一所管事務及び区 内の機関所掌事務 で教育委員会教育 長名をもつてする 公文書用	各教育支援 センター所 長	各 1	各教育支援 センター	2 5 の 5
------------------	----------	---	---	---------------------	-----	---------------	------------

」

に改める。

附 則

この規則は、平成 2 9 年 8 月 1 4 日から施行する。

新潟市教育委員会公印規則(昭和44年教育委員会規則第5号)新旧対照表

改正後(案)								現行								備考
○新潟市教育委員会公印規則 別表第1(第4条関係) (2) 専用公印								○新潟市教育委員会公印規則 別表第1(第4条関係) (2) 専用公印								
名称	規格 (ミ リメ ートル)	書 体	使用区分	管理 者	個 数	保管 場所	ひ な 形 番 号	名称	規格 (ミ リメ ートル)	書 体	使用区分	管理 者	個 数	保管 場所	ひ な 形 番 号	
(略)								(略)								
〃	〃 24	〃	入学通知 に関する 公文書に 係る電子 印用	学務 課長	1	学務 課,各 区役 所区 民生 活課 (<u>中 央区 役所 にあ って は窓</u>	1	〃	〃 24	〃	入学通知 に関する 公文書に 係る電子 印用	学務 課長	1	学務 課,各 区役 所区 民生 活課 及び 出張 所	1	

						ロサ ービ ス課) 及び 出張 所	
新潟市教 育委員会 教育長印	〃 24	〃	各教育支 援センタ ー所管事 務及び区 内の機関 所掌事務 で教育委 員会教育 長名をも つてする 公文書用	各教 育支 援セ ンタ ー所 長	各 1	各教 育支 援セ ンタ ー	2 5 の 5

新潟市教 育委員会 教育長印	〃 24	〃	各教育支 援センタ ー所管事 務及び区 内の機関 所掌事務 で教育委 員会教育 長名をも つてする 公文書用			〃	各 1 2 5 の 5

議案第16号

市長の権限に属する事務の委任について

新潟市芸術創造村・国際青少年センター設置に伴い、施設の管理及び運営に関する事務（使用料の徴収に関することを除く）の委任について、議決を求める。

平成29年7月21日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

新潟市芸術創造村・国際青少年センターについて、使用料の徴収に関することを除いた、管理及び運営に関する事務の委任について

1 協議理由

新潟市芸術創造村・国際青少年センター設置に伴い、地方自治法第180条の2の規定に基づき、別紙1のとおり新潟市長より、施設の管理及び運営に関する事務の委任について協議があったため

2 市長が新たに委任する事務

新潟市芸術創造村・国際青少年センターについて、使用料の徴収に関することを除いた、管理及び運営に関する事務

3 実施期日

新潟市事務委任規則の一部を改正する規則の公布の日からとする。

4 回答（案）

別紙2のとおり

新行経第261号
平成29年7月20日

新潟市教育委員会
教育長 前田 秀子 様

新潟市長 篠田 昭
(担当 総務部行政経営課)



市長の権限に属する事務の委任について（協議）

このことについて、新潟市芸術創造村・国際青少年センターを設置することに伴い、施設の管理及び運営に関する事務を下記のとおり委任することといたしたく、地方自治法第180条の2の規定に基づき協議します。

記

1 新たに委任する事務

新潟市芸術創造村・国際青少年センターについて、使用料の徴収に関するものを除いた、管理及び運営に関する事務

2 実施期日

新潟市事務委任規則の一部を改正する規則の公布の日から

(案)

別紙2

新地教推第275号の2
平成29年 月 日

新潟市長 篠田 昭 様

新潟市教育委員会
教育長 前田 秀子
(担当 地域教育推進課)

新潟市芸術創造村・国際青少年センターの管理及び運営に関する 事務の委任について (回答)

平成29年7月20日付け新行経第261号で協議のありました下記事項について、応諾いたします。

記

1 新たに委任を受ける事務

新潟市芸術創造村・国際青少年センターについて、使用料の徴収に関するものを除いた、管理及び運営に関する事務

2 実施期日

新潟市事務委任規則の一部を改正する規則の公布の日から

議案第17号

新潟市長から委任を受けた新潟市芸術創造村・国際青少年センターの管理に関する規則の制定について

新潟市長から委任を受けた新潟市芸術創造村・国際青少年センターの管理に関する規則について、次のとおりとしたため、議決を求める。

平成29年7月21日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

新潟市長から委任を受けた新潟市芸術創造村・国際青少年センターの管理に関する規則について

1 制定の理由

新潟市芸術創造村・国際青少年センター条例（平成29年新潟市条例第24号）に基づき、具体的な管理についての規則を制定するもの。

2 制定の内容

新潟市長から委任を受けた新潟市芸術創造村・国際青少年センターの管理に関し必要な事項を定めるもの。

3 施行期日

条例の施行の日から施行する。ただし、許可等の行為、指定管理者の指定及びこれに関し必要な手続その他の行為は、この規則の施行前においても行うものとする。

新潟市長から委任を受けた新潟市芸術創造村・国際青少年センターの管理に関する規則
をここに公布する。

平成29年7月 日

新潟市教育委員会

教育長

新潟市教育委員会規則第 号

新潟市長から委任を受けた新潟市芸術創造村・国際青少年センターの管理に関する
規則

(趣旨)

第1条 この規則は、新潟市長から委任を受けた新潟市芸術創造村・国際青少年センター
(以下「センター」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(利用の許可の申請等)

第2条 新潟市芸術創造村・国際青少年センター条例(平成29年新潟市条例第24号。
以下「条例」という。)第8条第1項前段の規定により条例第3条第1号から第14号
に掲げる施設(以下「クリエイティブスタジオ等」という。)の利用の許可を受けよう
とするものは、別記様式第1号による利用許可申請書を指定管理者に提出しなければな
らない。

2 利用許可申請書の受付期間は、別表の左欄に掲げる利用者の区分に応じ、同表の右欄
に定めるとおりとする。ただし、指定管理者が特別の理由があると認める場合は、この
限りでない。

(利用の変更許可申請等)

第3条 条例第8条第1項後段の規定によりクリエイティブスタジオ等の利用の変更の許
可を受けようとするもの及び条例第10条の規定によりクリエイティブスタジオ等の利
用の取止めの申出をしようとするものは、別記様式第2号による利用変更許可申請書兼
利用取止申出書を指定管理者に提出しなければならない。

(利用の許可の基準)

第4条 クリエイティブスタジオ等の利用の許可は、その利用許可申請書が受理された順序によってするものとする。この場合において、2以上の利用許可申請書が同時に提出されたときは、協議又は抽選によるものとする。

(利用許可書等の交付)

第5条 指定管理者は、クリエイティブスタジオ等の利用の許可をする場合は、別記様式第3号による利用許可書を交付するものとする。

2 指定管理者は、クリエイティブスタジオ等の利用の変更の許可をする場合は、別記様式第4号による利用変更許可書を交付するものとする。

(利用許可書等の提示)

第6条 クリエイティブスタジオ等の利用の許可(変更の許可を含む。)を受けたもの(以下「利用者」という。)は、クリエイティブスタジオ等を利用しようとする場合は、その利用許可書(変更の許可を受けたものにあつては、利用変更許可書)を指定管理者に提示しなければならない。

(届出)

第7条 利用者及びセンターの入場者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、直ちにその旨を指定管理者に届け出なければならない。

- (1) クリエイティブスタジオ等の利用を終了した場合
- (2) センターの施設又は設備を損傷し、汚損し、又は亡失した場合
- (3) センターにおいて災害その他事故が発生した場合

(指定管理者の指定の申請)

第8条 指定管理者の指定を受けようとするものは、別記様式第5号による指定管理者指定申請書により、教育委員会に申請しなければならない。

2 条例第23条第1項の規則で定める書類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 定款、寄附行為又はこれらに準ずるもの

- (2) 役員名簿
- (3) 経営状況に関する書類
- (4) 納税を証する書類
- (5) その他教育委員会が必要と認める書類
- (その他)

第9条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、条例の施行の日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

- 2 条例附則第2項のクリエイティブスタジオ等の利用の許可、取止めの申出及び許可の取消し並びにこれらに関し必要な手続その他の行為は、この規則の施行前においても、この規則の規定の例により行うものとする。
- 3 前項の場合において、前項ただし書に規定する規定の施行の日から条例の施行の日の前日までの間における第2条、第3条及び第5条並びに別記様式第1号から別記様式第4号までの規定の適用については、第2条、第3条及び第5条中「指定管理者」とあるのは「教育委員会」と、別記様式第1号から別記様式第4号までの規定中「新潟市芸術創造村・国際青少年センター指定管理者」とあるのは「新潟市教育委員会」とする。
- 3 条例附則第3項の指定管理者の指定及びこれに関し必要な手続その他の行為は、この規則の施行前においても、この規則の規定の例により行うものとする。

別表（第2条関係）

利用者	受付期間
-----	------

1	<p>条例第7条第2項第1号及び第2号に規定する者であつて、教育課程又は保育課程に基づく教育活動として利用するもの</p>	<p>利用開始日の18月前の日の属する月の初日（その日が休館日に当たる場合は、その翌日）から利用開始日の1週間前の日（その日が休館日に当たる場合は、その前日）まで</p>
2	<p>条例第7条第2項第3号に規定する団体</p>	<p>利用開始日の9月前の日の属する月の初日（その日が休館日に当たる場合は、その翌日）から利用開始日の1週間前の日（その日が休館日に当たる場合は、その前日）まで</p>
3	<p>1の項及び2の項に掲げる者以外のもの</p>	<p>利用開始日の6月前の日の属する月の初日（その日が休館日に当たる場合は、その翌日）から利用開始日の1週間前の日（その日が休館日に当たる場合は、その前日）まで</p>

別記様式第1号（第2条関係）

新潟市芸術創造村・国際青少年センター利用許可申請書				
年 月 日				
(宛先) 新潟市芸術創造村・国際青少年センター指定管理者				
住所（団体にあつては所在地）				
申請者 氏名（団体にあつては名称及び代表者の氏名）				
電話番号				
下記のとおり利用したいので申請します。				
利用目的				
利用区分	<input type="checkbox"/> 営利 <input type="checkbox"/> 非営利			
利用人数	人	(内訳)	<input type="checkbox"/> 青少年 人 <input type="checkbox"/> 引率者 人	
			<input type="checkbox"/> 青少年団体 人 <input type="checkbox"/> その他 人	
(研修室利用希望の場合のみ)				
男性 人 女性 人				
利用日時	年 月 日	時 分から	年 月 日	
時 分まで				
利用施設				
利用設備				
注 太線の枠内だけ記入してください。				
上記のとおり許可してよろしいでしょうか。		処 理 欄	起 案： 年 月 日	
			決 裁： 年 月 日	
決 裁			許 可： 年 月 日	
			許可番号： 第 号	
			納 付 額： 円	

別記様式第2号（第3条関係）

変更許可申請書 新潟市芸術創造村・国際青少年センター利用 取止申出書 年 月 日 （宛先） 新潟市芸術創造村・国際青少年センター指定管理者 住所（団体にあつては所在地） 申請者 氏名（団体にあつては名称及び代表者の氏名） 電話番号 下記のとおり 変更したいので申請します。 取り止めたいので申し出ます。											
許可年月日・番号	年 月 日・許可番号 第 号 の変更・取止め										
変更・取止めの理由											
項目	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">変更前</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">変更後</th> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 利用年月日 年 月 日から 年 月 日まで </td> <td style="padding: 5px;"> 年 月 日から 年 月 日まで </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 利用時間 時 分 ～ 時 分 </td> <td style="padding: 5px;"> 時 分 ～ 時 分 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">利用施設</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">利用設備</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </table>	変更前	変更後	利用年月日 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日から 年 月 日まで	利用時間 時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分	利用施設		利用設備	
変更前	変更後										
利用年月日 年 月 日から 年 月 日まで	年 月 日から 年 月 日まで										
利用時間 時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分										
利用施設											
利用設備											
注1 太線の枠内だけ記入してください。 2 変更・取止めのいずれかを○で囲んでください。											
上記のとおり許可・受理してよろしいでしょうか。											
決 裁	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">処 理 欄</td> <td style="padding: 5px;">起 案： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px;">決 裁： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px;">許 可： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px;">許可番号： 第 号</td> </tr> </table>	処 理 欄	起 案： 年 月 日		決 裁： 年 月 日		許 可： 年 月 日		許可番号： 第 号		
処 理 欄	起 案： 年 月 日										
	決 裁： 年 月 日										
	許 可： 年 月 日										
	許可番号： 第 号										

別記様式第3号（第5条関係）

新潟市芸術創造村・国際青少年センター利用許可書

第 号

年 月 日

様

新潟市芸術創造村・国際青少年センター指定管理者

印

下記のとおり利用を許可します。

利用目的		利用 人数	人
利用日時	年 月 日から 年 月 日まで	時 分から 時 分まで	
利用施設			
利用設備			
使用料の額	円		
許可の条件			
備考	<p>1 利用当日この許可書を職員に提示して、必要な連絡確認を受けてください。</p> <p>2 利用に際しては、新潟市芸術創造村・国際青少年センター条例及びこれに基づく規則並びに職員の指示に従ってください。</p>		

別記様式第4号（第5条関係）

新潟市芸術創造村・国際青少年センター利用変更許可書

第 号

年 月 日

様

新潟市芸術創造村・国際青少年センター指定管理者

印

下記のとおり変更を許可します。

許可年月日・ 番号	年 月 日・許可番号 第 号 の変更	
変更の理由		
項目	変更前	変更後
利用年月日	年 月 日	年 月 日
利用時間	時 分 ～ 時 分	時 分 ～ 時 分
利用施設		
利用設備		
使用料の額	円	円
許可の条件		
備考	<p>1 利用当日この許可書を職員に提示して、必要な連絡確認を受けてください。</p> <p>2 利用に際しては、新潟市芸術創造村・国際青少年センター条例及びこれに基づく規則並びに職員の指示に従ってください。</p>	

新潟市芸術創造村・国際青少年センター指定管理者指定申請書

年 月 日

（宛先）新潟市教育委員会

所在地

申請者 名称及び代表者の氏名 印

電話番号

新潟市芸術創造村・国際青少年センターの指定管理者の指定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

条例制定から規則制定までの流れ

1 新潟市芸術創造村・国際青少年センター条例（6月定例会，6月議会）

- 芸術創造機能(市長部局)と青少年育成機能(教育委員会)を併せて上程し可決

条例の概要

- ・ 芸術創造機能，青少年育成機能，交流機能の**管理**を行う
- ・ 芸術創造機能，青少年育成機能，交流機能の**事業**を行う
- ・ 施設，開館日，利用者，使用料を設定する
- ・ 指定管理者制度を活用する



2 新潟市長の権限に属する事務の委任（本定例会）

- 新潟市事務委任規則の一部改正により，本来市長が管理するものを教育委員会が管理できるようにする

教育委員会が委任されること

- ・ 芸術創造機能，青少年育成機能，交流機能の**施設管理**

議案第 16 号

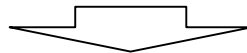
参考資料 2

教育委員会に委任されず，市長が行うこと

- ・ 使用料に関すること，使用料の減免に関すること
- ・ 芸術創造機能の事業運営
- ・ 交流機能の事業運営

元々教育委員会が行うこと

- ・ 青少年育成機能の事業運営



3 新潟市芸術創造村・国際青少年センターに関する規則

- 新潟市芸術創造村・国際青少年センター条例に基づき，具体的な管理についての規則を制定する

教育委員会規則（本定例会）

新潟市長から委任を受けた新潟市芸術創造村・国際青少年センターの管理に関する規則

議案第 17 号

規則の内容

- ・ 施設利用申込及び利用許可に関すること
- ・ 指定管理者の指定申請に関すること

参考資料 3

新潟市規則

新潟市芸術創造村・国際青少年センター使用料徴収規則

参考資料 4

規則の内容

- ・ 使用料の免除・還付に関すること
- ・ 使用料の徴収事務に関すること



4 指定管理者の募集（8月以降）

新潟市事務委任規則(昭和44年規則第31号)新旧対照表

改正後(案)	現行	備考																																				
<p>○新潟市事務委任規則 昭和44年7月7日規則第31号</p> <p>新潟市事務委任規則 (この規則の趣旨)</p> <p>第1条 この規則は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第153条、第180条の2及びその他の法令の規定に基づく市長の権限に属する事務の委任に関して必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(事務の委任)</p> <p>第2条 次の表の左欄に掲げる職員に、当該右欄に掲げる別表に定める事務を委任する。</p> <table border="1" data-bbox="239 759 985 1217"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>委任事務表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>区長</td><td>別表第1 1</td></tr> <tr><td>保健所長</td><td>別表第1 2</td></tr> <tr><td>福祉事務所長</td><td>別表第1 3</td></tr> <tr><td>児童相談所長</td><td>別表第1 4</td></tr> <tr><td>食肉衛生検査所長</td><td>別表第1 5</td></tr> <tr><td>衛生環境研究所長</td><td>別表第1 6</td></tr> <tr><td>消防長</td><td>別表第2 1</td></tr> <tr><td>水道事業管理者</td><td>別表第2 2</td></tr> </tbody> </table> <p>2 次の表の左欄に掲げる執行機関に、当該右欄に掲げる別表に定める事務を委任する。</p>	職員	委任事務表	区長	別表第1 1	保健所長	別表第1 2	福祉事務所長	別表第1 3	児童相談所長	別表第1 4	食肉衛生検査所長	別表第1 5	衛生環境研究所長	別表第1 6	消防長	別表第2 1	水道事業管理者	別表第2 2	<p>○新潟市事務委任規則 昭和44年7月7日規則第31号</p> <p>新潟市事務委任規則 (この規則の趣旨)</p> <p>第1条 この規則は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第153条、第180条の2及びその他の法令の規定に基づく市長の権限に属する事務の委任に関して必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(事務の委任)</p> <p>第2条 次の表の左欄に掲げる職員に、当該右欄に掲げる別表に定める事務を委任する。</p> <table border="1" data-bbox="1088 759 1834 1217"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>委任事務表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>区長</td><td>別表第1 1</td></tr> <tr><td>保健所長</td><td>別表第1 2</td></tr> <tr><td>福祉事務所長</td><td>別表第1 3</td></tr> <tr><td>児童相談所長</td><td>別表第1 4</td></tr> <tr><td>食肉衛生検査所長</td><td>別表第1 5</td></tr> <tr><td>衛生環境研究所長</td><td>別表第1 6</td></tr> <tr><td>消防長</td><td>別表第2 1</td></tr> <tr><td>水道事業管理者</td><td>別表第2 2</td></tr> </tbody> </table> <p>2 次の表の左欄に掲げる執行機関に、当該右欄に掲げる別表に定める事務を委任する。</p>	職員	委任事務表	区長	別表第1 1	保健所長	別表第1 2	福祉事務所長	別表第1 3	児童相談所長	別表第1 4	食肉衛生検査所長	別表第1 5	衛生環境研究所長	別表第1 6	消防長	別表第2 1	水道事業管理者	別表第2 2	
職員	委任事務表																																					
区長	別表第1 1																																					
保健所長	別表第1 2																																					
福祉事務所長	別表第1 3																																					
児童相談所長	別表第1 4																																					
食肉衛生検査所長	別表第1 5																																					
衛生環境研究所長	別表第1 6																																					
消防長	別表第2 1																																					
水道事業管理者	別表第2 2																																					
職員	委任事務表																																					
区長	別表第1 1																																					
保健所長	別表第1 2																																					
福祉事務所長	別表第1 3																																					
児童相談所長	別表第1 4																																					
食肉衛生検査所長	別表第1 5																																					
衛生環境研究所長	別表第1 6																																					
消防長	別表第2 1																																					
水道事業管理者	別表第2 2																																					

改正後（案）	現行	備考																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">執行機関</th> <th style="text-align: center;">委任事務表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">教育委員会</td> <td style="text-align: center;">別表第3 1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農業委員会</td> <td style="text-align: center;">別表第3 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>（省略）</p> <p>別表第3（第2条関係）</p> <p>1 教育委員会に係る事務委任事項表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">1 旧新潟市青少年三川自然の森の管理に関する事</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2 新潟市大畑少年センターの管理及び運営に関する事</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3 新潟市生涯学習センターの管理及び運営に関する事 （使用料の徴収に関する事を除く。）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">4 新潟市入徳館野外研修場の管理及び運営に関する事 （使用料の徴収に関する事を除く。）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">5 <u>新潟市芸術創造村・国際青少年センターの管理及び運営 に関する事（使用料の徴収に関する事を除く。）</u></td> </tr> </tbody> </table>	執行機関	委任事務表	教育委員会	別表第3 1	農業委員会	別表第3 2	1 旧新潟市青少年三川自然の森の管理に関する事	2 新潟市大畑少年センターの管理及び運営に関する事	3 新潟市生涯学習センターの管理及び運営に関する事 （使用料の徴収に関する事を除く。）	4 新潟市入徳館野外研修場の管理及び運営に関する事 （使用料の徴収に関する事を除く。）	5 <u>新潟市芸術創造村・国際青少年センターの管理及び運営 に関する事（使用料の徴収に関する事を除く。）</u>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">執行機関</th> <th style="text-align: center;">委任事務表</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">教育委員会</td> <td style="text-align: center;">別表第3 1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農業委員会</td> <td style="text-align: center;">別表第3 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>（省略）</p> <p>別表第3（第2条関係）</p> <p>1 教育委員会に係る事務委任事項表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">1 旧新潟市青少年三川自然の森の管理に関する事</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">2 新潟市大畑少年センターの管理及び運営に関する事</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">3 新潟市生涯学習センターの管理及び運営に関する事 （使用料の徴収に関する事を除く。）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">4 新潟市入徳館野外研修場の管理及び運営に関する事 （使用料の徴収に関する事を除く。）</td> </tr> </tbody> </table>	執行機関	委任事務表	教育委員会	別表第3 1	農業委員会	別表第3 2	1 旧新潟市青少年三川自然の森の管理に関する事	2 新潟市大畑少年センターの管理及び運営に関する事	3 新潟市生涯学習センターの管理及び運営に関する事 （使用料の徴収に関する事を除く。）	4 新潟市入徳館野外研修場の管理及び運営に関する事 （使用料の徴収に関する事を除く。）	<p>5を追加</p>
執行機関	委任事務表																						
教育委員会	別表第3 1																						
農業委員会	別表第3 2																						
1 旧新潟市青少年三川自然の森の管理に関する事																							
2 新潟市大畑少年センターの管理及び運営に関する事																							
3 新潟市生涯学習センターの管理及び運営に関する事 （使用料の徴収に関する事を除く。）																							
4 新潟市入徳館野外研修場の管理及び運営に関する事 （使用料の徴収に関する事を除く。）																							
5 <u>新潟市芸術創造村・国際青少年センターの管理及び運営 に関する事（使用料の徴収に関する事を除く。）</u>																							
執行機関	委任事務表																						
教育委員会	別表第3 1																						
農業委員会	別表第3 2																						
1 旧新潟市青少年三川自然の森の管理に関する事																							
2 新潟市大畑少年センターの管理及び運営に関する事																							
3 新潟市生涯学習センターの管理及び運営に関する事 （使用料の徴収に関する事を除く。）																							
4 新潟市入徳館野外研修場の管理及び運営に関する事 （使用料の徴収に関する事を除く。）																							

新潟市長から委任を受けた新潟市芸術創造村・国際青少年センターの
管理に関する規則の制定について

1 提案理由

- ・新潟市長から委任を受けた新潟市芸術創造村・国際青少年センターの管理に関する規則を制定するもの。
- ・この時期の制定については、平成29年8月から指定管理者の募集開始を予定していることから、標記規則を制定のうえ、必要な手続きを進めるため。

2 主な内容

利用の許可・変更の申請、許可基準、許可書の交付、届出、指定管理者の指定の申請、施行期日、準備行為

(1) 利用の許可・受付期間（規則第2条関係）

	利用者	受付期間
1	教育課程等に基づいた活動で利用する市内の幼稚園・保育園及び小学生・中学生・高校生等	利用18か月前のその月の初日から1週間前まで
2	青少年の健全な育成に関する活動を行っているとして市長が認める団体	利用9か月前のその月の初日から1週間前まで
3	1の項及び2の項に掲げる者以外の者	利用6か月前のその月の初日から1週間前まで

(2) 施行期日（規則附則1関係）

条例の施行の日から施行する。ただし、準備行為の規定は、公布の日から施行する。

(3) 準備行為（規則附則2関係）

指定管理者を指定する前の利用予約等の業務は教育委員会が行う。

新潟市芸術創造村・国際青少年センター使用料徴収規則（案）について

1 制定理由

・新潟市芸術創造村・国際青少年センター条例第 11 条の規定により徴収する使用料に関し必要な事項を定めるもの。

2 主な内容

附属設備に係る使用料、使用料の納付期日決定の申請、使用料の免除・還付、徴収事務委託関係事項、施行期日、準備行為

(1) 使用料の免除（規則第 4 条関係）

免 除	有 料
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 市が主催する事業 </div> <p>【例：サマーキャンプ，居場所づくり】</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 市内の小学生・中学生・高校生等 </div>	
<p>教育課程に基づいた教育活動として利用 【例：学校単位で行う宿泊体験学習】</p>	<p>教育課程外の活動として利用 【例：部活動の合宿，受験合宿】</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 市内の幼稚園児・保育園児 </div>	
<p>教育活動として利用 【例：園単位で行う運動会】</p>	<p>教育課程外の活動として利用 【例：園児とその親で活動するサークル等での利用】</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 青少年の健全な育成に関する活動を行っている」と市長が認める団体 </div> <p>【例：ボーイスカウト，ガールスカウト等】</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> その他市長が特に必要であると認める場合 </div>	
	<p>➡ その都度市長が定める額</p>

(2) 施行期日（規則附則関係）

条例の施行の日から施行する。ただし、準備行為の規定は、公布の日から施行する。

議案第18号

教職員の人事措置について

教職員の人事措置について、議決を求める。

平成29年7月21日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

非公開での審議を予定しており、資料は関係者のみに当日配布します。

協 議 会

教育総務課

**教育委員会の事務の管理及び
執行状況に関する点検・評価報告書
（平成28年度対象）**

**平成29年 月
新潟市教育委員会**

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき平成28年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果をまとめたものです。

— 目次 —

I	教育委員会の活動状況について	
1	教育委員会会議の開催状況	1
2	教育委員会会議以外の活動状況	3
3	平成28年度の主な取組と成果	5
II	新潟市教育ビジョンの施策評価について	
1	平成28年度施策評価一覧	8
2	主な施策・事業の評価状況	9
3	教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応	16

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

I 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会会議の開催状況

○新潟市教育委員会定例会・臨時会

- | | | |
|---------|--------|--|
| 4月 定例会 | 議案第 1号 | 平成28年5月議会臨時会の議案について |
| | 議案第 2号 | 平成29年度使用新潟市立小学校用教科用図書採択に関する基本方針について
平成29年度使用新潟市立中学校用教科用図書採択に関する基本方針について
平成29年度使用新潟市立特別支援学校用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第 3号 | 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第 4号 | 平成29年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第 5号 | 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択に関する基本方針について |
| | 議案第 6号 | 32期新潟市社会教育委員の委嘱について |
| | 議案第 7号 | 23期新潟市文化財保護審議会委員の委嘱について |
| 5月 定例会 | 議案第 8号 | 平成28年6月議会定例会の議案について |
| 6月 定例会 | 議案第 9号 | 新潟市立学校職員の勤務成績の評定に関する規則の廃止について |
| 7月 定例会 | 議案第10号 | 平成29年度使用新潟市立小学校用教科用図書並びに新潟市立中学校用教科用図書の採択について |
| | 議案第11号 | 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択について |
| | 議案第12号 | 平成29年度使用新潟市立特別支援学校・学級用一般図書の採択について |
| | 議案第13号 | 教育委員会の人事について |
| 8月 定例会 | 議案第14号 | 平成28年9月議会定例会の議案について |
| | 議案第15号 | 教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告について |
| | 議案第16号 | 平成29年度使用新潟市立高等学校用教科用図書採択について |
| | 議案第17号 | 平成29年度使用新潟市立高志中等教育学校後期課程用教科用図書採択について |
| 9月 定例会 | — | 報告案件のみ |
| 10月 定例会 | 議案第18号 | 平成28年11月議会臨時会の議案について |
| | 議案第19号 | 分離新設校の通学区域について |
| | 議案第20号 | 通学区域の一部変更について |
| 11月 定例会 | 議案第21号 | 平成28年12月議会定例会の議案について |
| | 議案第22号 | 市立小学校長の人事について |
| 12月 臨時会 | — | 報告案件のみ |
| 12月 定例会 | 議案第23号 | 新潟市いじめ防止対策等専門委員の委嘱について |
| 1月 定例会 | 議案第24号 | 職員の人事措置について |
| 2月 定例会 | 議案第25号 | 平成29年2月議会定例会の議案について |
| | 議案第26号 | 市立学校園の校長の人事について |
| 2月 臨時会 | 議案第27号 | 教職員の人事措置について |

- 3月 定例会 議案第28号 新潟市教育長職務代理者の事務を委任する規則の制定について
 議案第29号 新潟市教育委員会職員分限取扱規程の制定について
 議案第30号 新潟市教育職員の勤務時間、休暇等に関する条例施行規則の制定について
 議案第31号 新潟市教育職員の特殊勤務手当支給条例施行規則の制定について
 議案第32号 新潟市教育職員退職手当支給条例施行規則の制定について
 議案第33号 新潟市特定教職員の俸給表の切替え等に関する条例施行規則の制定について
 議案第34号 新潟市臨時教育職員に関する規則の制定について
 議案第35号 新潟市学校事務共同実施に関する規則の制定について
 議案第36号 県費負担教職員の給与負担等の移譲等に伴う関係教育委員会規則の整備等に関する規則の制定について
 議案第37号 新潟市立幼稚園に勤務する教育職員の勤務時間等に関する規程の廃止について
 議案第38号 新潟市教育委員会組織規則の一部改正について
 議案第39号 新潟市教育長に対する事務の委任等に関する規則の一部改正について
 議案第40号 新潟市長から委任を受けた新潟市生涯学習センターの管理に関する規則の一部改正について
 議案第41号 新潟市公民館条例施行規則の一部改正について
 議案第42号 新潟市立図書館条例施行規則の一部改正について
 議案第43号 通学区域の一部変更について
 議案第44号 教育財産の用途廃止について
 議案第45号 新潟市いじめの防止等のための基本的な方針の改定について
 議案第46号 事務局及び機関の長の人事について
 議案第47号 教職員の人事措置について

○教育委員会会議の公開等に関すること

- ・ 会議について 原則公開（人事案件等非公開の場合あり）
- ・ 開催案内について ホームページ・市報にいがた等に掲載
- ・ 会議案件について ホームページで案件名を事前に公開
- ・ 会議録について 会議終了後、会議速報をホームページに掲載
 会議録作成後、速やかに、ホームページに掲載及び
 市政情報案内室において公開
- ・ 傍聴の平均人数 2.43人

- ・ 地教行法等に基づき、新潟市では毎月、教育委員会定例会及び必要に応じて臨時会を開催しており、平成28年度は14回の会議（定例会12回、臨時会2回）を開催しました。
 （付議事件47件、報告案件24件）
- ・ 重要な案件については、教育委員会定例会の付議事件とする前に協議会の場において事前協議を行い、十分な検討を重ねています。（協議会案件3件）
- ・ 会議は原則公開で行っています。（人事案件等、非公開の場合あり。）

2 教育委員会会議以外の教育委員の活動状況

○意見交換会・懇談会

- 平成28年 6月 区教育ミーティング（西区，西蒲区）
平成28年 7月 総合教育会議
区教育ミーティング（北区，江南区，南区）
中学校区教育ミーティング（東石山，五十嵐，新津第五，潟東）
平成28年 8月 区教育ミーティング（東区，中央区，秋葉区）
中学校区教育ミーティング（岡方，白根北，山潟，上山，横越）
平成28年 9月 中学校区教育ミーティング（巻東，小須戸，木戸，早通）
平成28年10月 中学校区教育ミーティング（光晴，下山，柳都，味方）
平成28年11月 区教育ミーティング（西区）
中学校区教育ミーティング（月潟，小新，亀田，黒埼，巻西，小合）
平成28年12月 区教育ミーティング（北区，東区，中央区，南区）
中学校区教育ミーティング（亀田西）
平成29年 1月 総合教育会議
小中学校PTA連合会との懇談会
区教育ミーティング（江南区，秋葉区，西蒲区）
平成29年 2月 総合教育会議

- ・ 教育委員会と地域との連携強化，開かれた教育委員会を目指し，各区の自治協議会委員と区教育ミーティングを年2回行いました。また，各区3中学校区で中学校区教育ミーティングを行いました。
- ・ 総合教育会議を年3回開催し，市長と教育委員会が教育施策の方向性を共有し，相互連携して執行にあたるため，両者が協議・調整を行いました。

○市内視察

- 平成28年 5月 高志中等教育学校（シビックプライド醸成 ※新潟暮らし創造運動）
平成28年 6月 鳥屋野中学校（地域連携事業）
平成28年 7月 小須戸小学校，東山の下小学校（地域連携事業）
平成28年 8月 巻北小学校，上所小学校（地域連携事業）
平成28年 9月 江南小学校，赤塚小学校，新津第二小学校，豊栄南小学校，白根北中学校（地域連携事業），山田小学校（マイスター公開授業）
平成28年10月 庄瀬小学校，小新中学校，升潟小学校，沼垂小学校，南浜中学校，早通中学校，西内野小学校（地域連携事業），浜浦小学校（マイスター公開授業）
平成28年11月 新潟小学校，茨曽根小学校，小合小学校，味方小学校，金津中学校，両川中学校（地域連携事業），亀田西小学校（マイスター公開授業）
平成28年12月 桜が丘小学校，新津第一小学校，東石山中学校（地域連携事業），小針中学校（マイスター公開講座）
平成29年 1月 味方小学校，亀田西小学校，小針小学校，有明台小学校（地域連携事業）

- ・ 35カ所の学校の視察を行い，実際の教育現場の状況を把握するようにしています。
- ・ 視察の際は，教職員等と意見交換を行うなど，情報交換に努めています。

○行政視察（県外視察）

平成28年11月 京都府京都市

- ・京都市立御池中学校（小中一貫教育特区）

5・4制の小中一貫教育など、学校運営で4つの特色ある取組を行っており、学力向上や地域からの支援などさまざまな効果が得られている。

- ・京都市立住吉幼稚園・住吉小学校（教育課程研究指定校事業（幼小接続）指定園）

幼小接続の視点を取り入れることで授業改善につながり、子どもの安心・安定が向上し、主体的に学ぶ姿が見られるようになった。

- ・先進地の教育行政を参考にして、新潟市の教育行政に役立てるため、年に一度、県外の行政視察を行っています。
- ・京都市教育委員会の先進的な取組である、小中一貫教育、幼少接続の取組を視察しました。

○指定都市教育委員・教育長協議会・他団体関係

平成28年4月 全県教育長会議

平成28年5月 新潟県都市教育長協議会 春季定期総会
第1回指定都市教育委員・教育長協議会

平成28年7月 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会

平成28年10月 新潟県都市教育長協議会 秋季定期総会
都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会

平成29年1月 第2回指定都市教育委員・教育長協議会

- ・指定都市教育委員・教育長協議会、新潟県都市教育長協議会に教育長が参加している他、その他連合会の研修等に教育委員も参加し、他指定都市や他市町村の教育委員とも積極的に情報交換をおこなっています。

○学校周年事業・卒業式等への教育委員の出席状況

平成28年7月 開校記念式典（日和山小学校）

平成28年9月 創立40周年記念式典（月潟小学校，新津第三小学校，五十嵐中学校）

平成28年10月 創立140周年記念式典（丸山小学校），創立70周年記念式典（内野中学校）

平成28年11月 創立40周年記念式典（上山小学校）

平成29年3月 卒業式（万代高等学校，明鏡高等学校，高志中等教育学校，東特別支援学校，西特別支援学校）

○その他の出席

成人の日のつどい，小・中学校教員採用選考検査確認，公募校長採用試験審査，校長選考検査面接官，市立学校園長全体研修会，教科用図書特徴説明会・学習会，教育フォーラム，新任教育委員研修 等

3 平成 28 年度の主な取組と成果

新潟市教育ビジョン第 3 期実施計画は、平成 27 年度から 31 年度の 5 か年を期間とし、これまでの教育ビジョン前・後期実施計画の基本構想や基本計画を原則的に継続「NEXT」するとともに、新たな視点「NEW」を加えて策定しました。

平成 28 年度は、この計画に盛り込まれた施策を実施し、「学・社・民の融合による教育の推進」に引き続き取り組み、「地域と共に歩む学校づくり」の推進をはじめ、一つひとつの施策・事業が充実してきました。

教育委員会の主な取組と成果は、次のとおりです。

① 教育ミーティングの本格実施

区担当教育委員の活動として、教育情報を地域に発信するとともに、地域の実情を把握するため、各区の自治協議会と意見交換を行う区教育ミーティングを各区で2回実施しました。

また、中学校区内のコミュニティ協議会、保護者等と意見交換を行う中学校区教育ミーティングを、「地域と学校の連携について」をテーマに各区3中学校区計24回実施し、その中学校区内の教育の実情や取組などを共有し、地域と学校の連携を深め、地域全体で子どもを育てる気運の醸成を図りました。

② 学校適正配置の推進

子どもたちのより良い教育環境の確保を目指して策定された「学校適正配置基本方針」に基づき、複式学級や教室の不足が見込まれる緊急性の高い地域で「地域検討会」が設立されて協議をしています。平成 30 年 4 月には太田小学校が葛塚東小学校に編入します。

存続要望のあった学校区のコミュニティ協議会とは情報交換等を行い、今後の学校のあり方について検討を継続しています。

③ 一貫教育の検討

昨年度発足した新潟市一貫教育推進協議会において、公私立の幼稚園や保育園の各代表も参加し、就学前から義務教育終了までの一貫教育について協議しています。下部組織である小中一貫教育部会では、4つのパイロット中学校区において実践を始め、情報を蓄積しています。また、幼・保・小連携部会では、接続カリキュラムの検討を重ねています。

④ 基礎・基本を身につける教育の推進

本市独自の単元評価問題の学校向けWeb配信を継続し、その結果や分析から、単元別の基礎的・基本的な知識・技能の習得状況を把握することで、授業改善に役立てました。

また、放課後の時間を活用した学習支援環境を整備し、主体的に学ぶ意欲・態度を育成するとともに、大学生などの学習支援ボランティアを引き続き各

校に配置するなど、児童生徒一人一人の学力実態の的確な把握と、きめ細かな指導に努めました。

その結果、全国学力学習状況調査では、小6、中3の国語A、国語B、算数A、算数B、数学A、数学Bの全ての調査問題で、全国平均を上まわりました。

⑤ 地域と学校パートナーシップ事業の充実

学・社・民の融合による教育を推進する取組として、「地域と学校パートナーシップ事業」を引き続き実施しました。事業に伴う、地域教育コーディネーターは302名、学校支援ボランティアの活動機会は延べ53,272回、延べボランティア数は269,096人となり、学校を中心とした地域コミュニティや地域の教育力の一層の向上が図られました。

また「地域と学校ドリームプロジェクト支援事業」において「ウェルカム参観日」を市内45校で開催し、教育活動の公開、学校職員や参加者同士の交流を深めることで事業の周知と推進を図りました。

⑥ 大好きにいがた体験事業の取組

新潟のよさを知り、新潟への愛着を育む学習活動を支援することを目的に、平成28年度に新規事業として取り組みました。30校の推進校が新潟のよさをもとに総合的な学習の時間を充実させました。

その成果を年度末に「にいがたきらっと発見 BOOK」にまとめ各学校に配付しました。また、公民館、図書館、区役所等で閲覧できるようにしました。

⑦ 第32期新潟市社会教育委員会議の取組

第32期社会教育委員会議では、本市の生涯教育施策の方向性についてまとめた前期の建議「新潟市の生涯学習のあるべき姿『ともに学び、育ち、創る』～ゆたかな新潟をめざして～」を更に掘り下げ、施策を推進するため『『学びの循環』による人づくり』を第32期の建議テーマに決定し、調査・研究を進めました。

学びの成果を自己にとどめずに、他者の学びを支え、地域課題の解決に生かすなど、「学びの循環」の観点から「学校」・「社会教育施設」・「地域」を舞台にした取組みの視察や関係者からのヒアリングを行い、来年度末の建議提出に向け協議を重ねました。

⑧ 新潟市いじめ防止市民フォーラム（教育フォーラム2016）の実施

「いじめは人権侵害であり、人権侵害はどのような理由があっても許されない。」ということについての市民の意識を高め、いじめの防止を確実に行うために、本フォーラムを開催しました。

フォーラムの第1部では鳴門教育大学 森田洋司特任教授から「いじめを止められる社会を目指して」というテーマで講演いただきました。

第2部のトークタイムでは、「いじめを生まない、いじめを止められる社会

をつくるために、わたしたちがすべきことは何か？」というテーマで、森田洋司特任教授、地域教育コーディネーターの郷扶二子氏、篠田昭市長の3名が、学校や地域で子どもが安心して楽しく過ごせるために、大人がすべきことは何かを、それぞれの立場や視点から意見交換しました。

フォーラムをとおして参加者全員が、社会全体でいじめの防止に向けて、いじめを生まない風土づくりに取り組むことが大切であることを認識しました。

⑨ 少子化対策について

「新潟未来ビジョン」に則った少子化対策の取組の一つとして、地域少子化対策重点推進補助金を受け、結婚を希望する男女を対象に人材育成を目的としたセミナーと出会いの場となるイベントを連続して開催しました。

参加者は、セミナーを通してスキルアップすることで、自信を持ってイベントに参加し、最終的に19組38人のマッチングに成功しました。

引き続き、若者対象とした事業の開催を通して、個人のスキルアップと出会いの場・交流の場の提供を行っていきます。

⑩ 第二次新潟市子ども読書活動推進計画による読書活動の推進

平成27年3月に策定した第二次計画（平成27～31年度）に基づき、図書館をはじめ、家庭、保育園・幼稚園、学校、地域において、子どもの読書環境の整備を進めました。

ブックスタート事業や家族で一緒に読書を楽しむ「うちどく」を引き続き実施したほか、子育て世代の図書館利用を促す「赤ちゃんタイム」を実施する図書館を拡大しました。

また、学校図書館活用推進校の指定や、特別支援学校の学校司書配置に向けた検討など、学校図書館の充実に努めました。

II 新潟市教育ビジョンの施策評価について

新潟市教育ビジョンの平成28年度の実施状況について、有識者の知見を活用した評価を以下に示します。

1 平成28年度施策評価一覧

全施策の平均 4.12 (NEXT&NEWの平均 4.10)

○評価分布(評価対象51指標)

- ・目標を上回って達成…17.6%
- ・目標を概ね達成…66.7%
- ・目標をもう少しで達成…9.8%
- ・目標を下回った…3.9%
- ・目標を大きく下回った…2.0%

凡例
目標を上回って達成 … 5
目標を概ね達成 … 4
目標をもう少しで達成 … 3
目標を下回った … 2
目標を大きく下回った … 1

基本施策(13施策)	施策(54施策)		H28施策評価(後期進捗)	
	網掛…【NEXT】&【NEW】に該当する施策			
1 確かな学力の向上	1-1(1)	社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進	4.3	3.9
	1-1(2)	学び続ける資質・能力を育むキャリア教育の推進	4.3	
	1-1(3)	基礎・基本を身に付ける教育の推進	3.4	
	1-1(4)	アグリ・スタディ・プログラムの推進	4.0	
	1-1(5)	学習習慣の定着	5.0	
	1-1(6)	読書活動の推進と新聞活用の充実	2.5	
2 豊かな心と健やかな体の育成	2-1(1)	いのちの教育・心の教育の推進	4.3	3.9
	2-1(2)	一人一人の成長を促す生徒指導の推進	3.6	
	2-1(3)	体験活動・ボランティア活動の充実	4.0	
	2-1(4)	文化・芸術活動体験の推進	5.0	
	2-1(5)	体力づくりの推進	3.0	
	2-1(6)	健康づくりの推進	3.5	
	2-1(7)	食育の推進	4.0	
	2-1(8)	青少年の健全育成の推進	4.2	
3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成	3-1(1)	地域学習の充実	5.0	4.5
	3-1(2)	外国語教育・国際理解教育の充実	4.5	
	3-1(3)	情報教育の充実とICTを活用した教育の取組	4.7	
	3-1(4)	主体的な取組を促す環境教育の推進	4.5	
	3-1(5)	海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進	4.0	
4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進	4-1(1)	子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進	5.0	4.3
	4-1(2)	特別支援教育のサポート体制の推進	5.0	
	4-1(3)	早期からの就学相談・支援の充実	3.0	
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-1(1)	新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組	4.0	4.5
	5-1(2)	幼児教育の充実と幼保小連携の推進	5.0	
6 人権を守り共に支え合う社会の推進	6-1(1)	人権教育、同和教育の推進、男女平等教育の推進	4.6	4.3
	6-1(2)	交流・体験活動の推進	4.0	
7 家庭教育の充実と子育て支援	7-1(1)	家庭教育充実への支援	4.7	4.6
	7-1(2)	子育て支援の充実	4.5	
8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-1(1)	主体的な学習を支えるシステムづくり	4.0	4.7
	8-1(2)	学び育つ各世代への支援	5.0	
	8-1(3)	地域における生涯学習活動への支援	5.0	
9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進	9-1(1)	地域と共に歩む学校づくりの推進	4.5	4.0
	9-1(2)	広報広聴活動の推進	4.0	
	9-1(3)	学校・地域・NPO等の協働の推進	4.5	
	9-1(4)	高等教育機関及び企業との連携推進	4.7	
	9-1(5)	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画	4.0	
	9-1(6)	市民の生涯学習施設運営への参画	2.5	
10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進	10-1(1)	防災・安全教育の充実	4.0	4.0
	10-1(2)	保護者や地域と連携した安心な学校づくりの推進	4.0	
	10-1(3)	安全な学校施設	4.0	
	10-1(4)	学びを支援する体制の整備と充実	4.0	
11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備	11-1(1)	効果的な指導を支援する施設設備の充実	4.0	3.6
	11-1(2)	コミュニティの拠点としての学校整備	5.0	
	11-1(3)	学校施設の整備	1.0	
	11-1(4)	生涯学習施設を核とした学習環境の整備	4.3	
12 市民に信頼される教育関係職員の育成	12-1(1)	教育関係職員の研修プログラムの充実	4.0	4.1
	12-1(2)	教職員への支援体制の充実	4.3	
	12-1(3)	信頼される教職員の採用・登用・配置	4.0	
	12-1(4)	教育関係職員の人事管理の適正化	4.0	
13 ニーズと課題に応える教育行政の創造	13-1(1)	新潟らしい教育改革の推進	4.0	4.0
	13-1(2)	効果的・効率的な執行体制の整備		
	13-1(3)	教育情報の収集と発信	4.0	
	13-1(4)	学校適正配置		
	13-1(5)	教育施策の管理と適切な評価	(3.0)	

2 主な施策・事業の評価状況

「NEXT」&「NEW」に該当する施策を取り上げています。

1 確かな学力の向上

1-（1） 社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進

主な事業・持続可能な開発のための教育(ESD)推進事業
・「アクティブ・ラーニング」による教育活動の推進

H28施策評価
4.3

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	ESDを自校の教育活動に位置付けている学校の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		20.0	50.0	75.0			
進捗状況	-	42.5	72.0				
指標2	「アクティブ・ラーニング」を実施した学校の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0			
進捗状況	92.0	95.0	100.0				
指標3	放課後の学習支援をする中学校(校)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56	56	56			
進捗状況	-	56	56				
指標4	環境教育に関する実践的な取組を広報する(回)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		1.0	1.0	1.0			
進捗状況	1	1.0	1.0				
指標5	環境教育事業の実施						H28評価
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
指標目標		実施	実施	実施			
進捗状況	実施	実施	実施				

○すべての学校が、「アクティブ・ラーニング」を取り入れた教育活動を実施した。

○4月に第1回の研究主任研修会を開催し、アクティブ・ラーニングの充実に向けた全体指導を行うとともに、各学校の取組計画についてグループ協議で検討を行い、研究主任が各学校で取組をリードできるよう支援した。その後、計画訪問及び要請訪問を通じて、各学校の状況に応じて個別の支援・指導を継続した。その結果、学びの質や深まりを重視する授業づくりが着実に広まっている。

○アフタースクール学習支援員については、今年度、数学25名、英語29名を登録し、英語は全56中学校、数学は54中学校に配置した。5月にアフタースクール学習支援員連絡会を行い、今年度の概要を説明した。6月からアフタースクールの講座を開始した学校もある。全体での一斉授業と個別の支援の両面から生徒の能力やニーズに応じた学習支援を展開している。10月には学習支援員の研修会を行い、支援の質の向上に努めた。

1-（3） 基礎・基本を身に付ける教育の推進

主な事業・学力実態調査 ・学習支援員派遣事業
・学力定着支援事業 ・理数大好きプロジェクト
・アフタースクール学習支援事業

H28施策評価
3.4

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		61.7	61.9	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	70.7	68.5	63.5				
指標2	全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(小6・算数)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
指標目標		59.7	59.9	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	73.4	56.0	50.0				
指標3	全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・国語)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標		53.2	53.4	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	67.3	66.1	49.0				
指標4	全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均を上回った児童の割合(%)→H29～全国学力調査B問題(中3・数学)で全国平均正答率に対する新潟市平均正答率の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
指標目標		61.2	61.3	104.0	104.0	104.0	
進捗状況	62.8	48.2	52.0				
指標5	児童質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		84.0	84.5	85.0			
進捗状況	83.1	87.7	87.4				
指標6	児童質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした児童(小6)の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		70.5	71.0	72.0			
進捗状況	69.8	70.7	74.4				
指標7	生徒質問紙「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		80.0	80.5	81.0			
進捗状況	79.1	85.0	84.2				
指標8	生徒質問紙「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」で、肯定的な回答をした生徒(中3)の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		70.0	71.0	72.0			
進捗状況	69.0	70.5	71.6				

○継続した授業改善の取組により、全国学力調査で、多くの児童生徒が全国平均を上回った。

○【全国学力・学習状況調査による正答率】
・国語A 小学校：76.3%(全国比+3.4)、中学校：76.8%(全国比+1.2)
・国語B 小学校：61.3%(全国比+3.5)、中学校：67.4%(全国比+0.9)
・算数数学A 小学校：79.7%(全国比+2.1)、中学校：62.7%(全国比+0.5)
・算数数学B 小学校：49.1%(全国比+1.9)、中学校：45.6%(全国比+1.5)

○全国学力調査の国語・算数・数学のB問題において、平均正答率は全国平均より新潟市平均が大きく上回っているものの、指標2～4に見られるように全国平均正答率を上回る児童生徒数の割合は指標目標を下回った。これは、正答率が低位だった児童生徒が各事業によって中位程度まで向上してきた反面、中位の児童生徒が上位には上がらなかったためである。

○学校訪問の継続により、組織的な授業改革が浸透してきた。校長・教頭・研究主任に対し、継続的に授業マネジメント研修を行うことで定着してきたと考えられる。また、8月に教諭全員を集めて実施した授業づくり研修により、中学校の授業改革が進んできた。

○算数・数学の単元評価問題等の配信は、今年度から経年変化が分かるグラフが出るように修正した。指導の要点をもとに指導を行い、評価問題に取り組む学校が増えてきた。

1-(4) アグリ・スタディ・プログラムの推進

主な事業 ・「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習の推進

H28施策評価
4.0

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施している小学校の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0				
指標2	アグリ・スタディ・プログラム評価・サポート委員会によるプログラムの検証率(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		25.0	50.0	75.0	100.0	100.0	
進捗状況	-	25.0	50.0				

□すべての小学校が「アグリ・スタディ・プログラム」に基づく体験学習を実施した。

○アグリ・スタディ・プログラム(以下ASP)総合推進会議の検討内容を受け、各区小学校代表校長(8名)と代表中学校長(4名)からなるASP推進委員会を2回開催した。そこでは、総合推進会議で示された方向性に基づいて、各区において具体的にどのように取り組むかについて情報交換を行った。

○教職員向けのASP研修会を4回開催した。ここでは、搾乳体験などのASPの体験プログラムを実際に体験するとともに、それを取り入れた具体的な指導方法についての研修を行った。参加者からは、すぐに自分の実践に活用できる研修内容として好評を得た。

1-(6) 読書活動の推進と新聞活用の充実

主な事業 ・学校図書館活用推進校事業 ・学校図書館支援センター事業
・学校図書館支援事業 ・新聞活用の推進

H28施策評価
2.5

【NEXT5】

○子どもの読書活動を推進するとともに、市民が自ら課題解決を図るための読書環境を充実していきます。

●施策の目標

指標1	学校図書館を活用した授業を「月に数回程度」行った小学校の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	1
指標目標		78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	
進捗状況	77.2	75.6	46.8				
指標2	学校図書館を活用した授業を「学期に数回程度」行った中学校の割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	
進捗状況	55.1	62.1	55.2				
指標3	中学生の不読率(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		12.0	11.5	11.0	10.5	10.0	
進捗状況	12.1	12.3	11.8				
指標4	ほぼ毎日新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)→H29～週に1回以上新聞を読む中学生の割合が、全国平均を上回る(ポイント)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	1
指標目標		2.8	2.8	2.8			
進捗状況	2.7	1.0	1.1				

□読書活動推進により、中学校で不読率が改善方向を示してきた。

○学校図書館活用推進校事業の説明会を5月18日に開催し、今年度の活用推進校33校(小学校22校・中学校11校)が参加した。2月に各区で行われた実践報告会では、「読書センター」「学習・情報センター」としての機能を意識した優れた実践報告が行われた。また、総合教育センターの研修講座「教員と司書との連携充実」(8月5日「図書館活用推進編」、9月16日「探究学習編」)には多くの推進校の教員と司書が参加し、学校図書館を活用した探究型学習について学びを深めた。

○4月に、各区1校(小学校8校、中学校8校)を新聞活用教育(NIE)推進校として指定し、次の取組を行った。各校に新聞を配備し、新聞活用計画に基づき進めた。希望する学校に出前講習会を実施し、実践の推進を図った。実践報告書を作成配付し、優れた実践の共有に努めた。

2 豊かな心と健やかな体の育成

2-(2) 一人一人の成長を促す生徒指導の推進

主な事業 ・いじめ対策等生徒指導推進事業
・教育相談ネットワーク事業
・カウンセラー等活用事業

H28施策評価
3.6

【NEXT5】

○確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育む教育を進めます。

●施策の目標

指標1	新潟市生活・学習意識調査の「自律性」「社会性」にかかわる質問項目のうち、肯定的な回答が前年度の数値を上回った項目の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		66.7	66.7	67.0			
進捗状況	61.1	83.3	69.2				
指標2	小学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	97.0		100.0	
進捗状況	96.2	99.1	95.8				
指標3	中学校 いじめ解消率(%)※「解消率」…「解消」と「一定の解消」を合わせたものの割合						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	97.0		100.0	
進捗状況	94.5	96.3	98.1				
指標4	小学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	2
指標目標		0.38	0.38	0.38			
進捗状況	0.40	0.40	0.44				
指標5	中学校 不登校(30日以上欠席)発生率(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		2.65	2.62	2.60			
進捗状況	2.69	2.64	2.64				

□いじめ認知件数が大幅に増加し、いじめ認知に向けた意識が高まった。

○「新潟市いじめ防止等のための基本的な方針」について、迅速かつ組織的・実効的に対応できるように改訂し、各学校園に周知した。

○4月の学校マネジメント研修では、「いじめの認知と対応」「学校・学級の諸問題への対応について説明し、校長への周知と理解の促進に努めた。

○11月12日(土)に開催した「新潟市教育フォーラム2016(いじめ防止市民フォーラム)」を開催し、新潟市全体でいじめの実態と対応策を共通理解する機会とした。

○これまでのスクールカウンセラーの学校への配置に加えて、新たに86校の小学校にスクールカウンセラーを配置し、本年度より、すべての市立学校にスクールカウンセラーの配置を行った。

3 創造性に富み、世界と共に生きる力の育成

3-(2) 外国語教育・国際理解教育の充実

主な事業 ・外国語指導助手(ALT)配置事業
 ・国際交流事業
 ・外国語教育支援事業

H28施策評価
4.5

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	新潟市生活・学習意識調査(小6)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		75.0	75.0	82.0	→		
進捗状況	74.5	73.8	81.1				
指標2	新潟市生活・学習意識調査(中3)で「外国語活動の勉強が好き」と回答した生徒の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56.5	56.5	57.0	→		
進捗状況	56.0	54.6	56.7				

「外国語活動の勉強が好き」と回答した児童生徒数が増加した。

・小中高連携をテーマに協力校3校(上所小、鳥屋野中、万代高)による公開授業を行い、指導内容と評価法を見直した。その研修の成果を12月16日に行われた外国語教育マネジメント研修において、全小中高の英語科主任や外国語担当と共有した。

・8月に、現在の英語力の把握とさらなる英語力向上への意識高揚を図るため、中学校英語担当教員に対して英検IBA受検を行った。(140名の中学校英語担当教員が受検)

・小学校と中学校の授業づくり研修会において、外部専門機関から指導者を招聘し、英語指導力の向上を図った。(計3回)

3-(3) 情報教育の充実とICTを活用した教育の取組

主な事業 ・タブレット等ICT活用研修(教職員研修)

H28施策評価
4.7

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学ぶ合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した小学校教職員の割合(%)						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		66.6	66.6	70.0	→		
進捗状況	65.7	60.3	98.0				
指標2	コンピュータ等(タブレットPCを含む)の情報通信技術を活用して、子どもが学ぶ合う協働学習や課題解決型の学習指導を実施した中学校教職員の割合(%)						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		51.0	51.0	55.0	→		
進捗状況	50.0	50.0	97.0				
指標3	「アクティブ・ラーニング」の実施した学校の割合(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0	→		
進捗状況	92.0	95.0	100.0				

小・中学校で、情報通信技術を活用した協働学習や課題解決型の学習指導の実施が大幅に増加した。

○タブレット機器の新規導入校に、活用の基礎となる操作説明会を実施し、授業での活用を促した。

○4月に第1回の研究主任研修会を開催し、アクティブ・ラーニングの充実に向けた全体指導を行うとともに、各学校の取組計画についてグループ協議で検討を行い、研究主任が各学校で取組をリードできるよう支援した。その後、計画訪問及び要請訪問を通じて、各学校の状況に応じて個別の支援・指導を継続しているところである。学びの質や深まりを重視する授業づくりが着実に広まっている。

3-(5) 海外帰国・外国人児童生徒への教育の推進

主な事業 ・日本語指導協力者派遣事業
 ・外国人児童生徒への支援体制の整備

H28施策評価
4.0

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	日本語指導協力者の指導により、日常会話ができるようになった子どもの割合(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
進捗状況	85.0	81.8	82.1				

海外帰国・外国人児童生徒が学校生活にスムーズに適應できた。

○年度当初、日本語指導協力者連絡会を開催し、事業の実施について協力者及び学校関係者と共通理解を図った。

○各学校から要請のあった対象児童生徒38名(25か校)に対して、延べ25名の日本語指導協力者を派遣している。派遣回数、児童生徒の日本語能力の実態に応じて15回～25回(1回2時間)としている。

4 共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの推進

4-1(1) 子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進

主な事業・インクルーシブ教育システム構築の推進事業

H28施策評価
5.0

【NEW5】

○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

●施策の目標

指標1	各年度内に特別支援教育に関する公的研修を受講した教員(幼・小・中・高)(人)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
進捗状況	1,500	1,616	1,585				

特別支援教育に関する公的研修を通じて、インクルーシブ教育システムの認識が高まった。

○3回実施した合理的配慮セミナーは、それぞれの回の受講対象者を「特別支援教育コーディネーター+希望者」「教頭」「生徒指導担当者+希望者」とし、特別支援教育を学校体制として推進できるようにした。アンケートの評価、満足度も非常に高く、合理的配慮の提供に必要な校内支援体制、組織整備に関して、認識が高まった。

○市立明鏡高等学校の文部科学省指定事業「高等学校における通級指導教室の研究」について、3年間の継続研究の成果発表会を行い、県内外から163人の参加があった。

4-1(3) 早期からの就学相談・支援の充実

主な事業・早期からの就学支援の推進

H28施策評価
3.0

【NEW5】

○共生社会の実現を目指すインクルーシブ教育システムの構築に向けた取組を始めます。

●施策の目標

指標1	入学支援ファイルの活用件数(年度ごとの数)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	3
指標目標		300	350	310			
進捗状況	280	331	315				

小学校新入生の「入学支援ファイル」のより一層の活用のため、目的や活用例を説明した。

○小学校新入生の「入学支援ファイル」の活用状況調査において、「入学支援ファイル」の提出は315人であり、新入生の4.8%の提出である。特に特別支援学級在籍児童の提出は、90.2%であった。

○特別支援教育管理職研修や幼稚園研修において、就学支援や「入学支援ファイル」の目的や活用例について説明し、保護者と学校との連携を促した。

5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり

5-1(1) 新潟市にふさわしい小中一貫した教育の取組

主な事業・小中一貫教育パイロット事業
・学校間連携推進事業

H28施策評価
4.0

【NEW5】

○未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため、校種間の連携をさらに進めます。

●施策の目標

指標1	小中一貫教育推進協議会(回)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		発足	3	2			
進捗状況	-	発足	3				
指標2	新規パイロット事業実施中学校区数(延べ数)→H29～新潟市にふさわしい小中一貫した教育に取り組んだ中学校区数(延べ数)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		-	4	8	24	40	
進捗状況	-	-	4				
指標3	学び方等、共通の取組を設定した中学校(校区数)						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56	56	56		56	
進捗状況	-	55	56				

幼・保・小・中連携事業についての実践事例集を編集し、取組を広める体制ができた。

○「小中一貫教育部会」を3回(平成27年度から通算5回目)開催した。4つのパイロット校における実践をもとに情報交換を行い、各校の実施内容と現状における課題などについて協議した。実践を通して、小中一貫教育を各中学校で進める際の共通プログラムと独自プログラムのイメージが明らかになってきた。また、第5回の部会では、平成29年度からのパイロット校にも参加してもらった。実践を始めるにあたって不明な点を確認することができた。

○「幼保小連携部会」では、今年度から新潟版アプローチカリキュラムの作成に向け、教育課程の編成を担当する主任級の委員を新たに加えることで、現場の声を反映させやすくなった。協議を通じて新潟版アプローチカリキュラムの概要が明らかになってきた。

5-(2) 幼児教育の充実と幼保小連携の推進

主な事業・幼保小連携推進事業
・幼保小合同研修会

H28施策評価
5.0

【NEW5】

○未来の新潟を担う子どもたちの生きる力の育成のため、校種間の連携をさらに進めます。

●施策の目標

指標1	幼稚園・保育園との連携の充実を図り、小学校への円滑な接続を図るための教育懇談会を実施した小学校の割合(%)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		10.0	95.0	100.0		100.0	
進捗状況	-	90.0	100.0				
指標2	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている小学校の割合(%)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		10.0	40.0	70.0		70.0	
進捗状況	-	30.0	72.0				
指標3	接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市立幼稚園の割合(%)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		27.3	90.0	100.0		100.0	
進捗状況	-	81.2	100.0				
指標4	隣接する小学校区における、幼稚園、保育園、小学校等の職員を交えた研究保育を年間複数回実施した市立幼稚園の割合(%)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		18.1	63.6	90.0		90.9	
進捗状況	-	54.5	90.0				

○**研修会を通じて、幼・保・小の接続カリキュラムについての意識が高まった。**

○8月4日、中之口幼稚園において新潟市幼保小連携推進事業合同研修会を開催し、西蒲区内小学校・公私立幼稚園・保育園の教員・保育士等57名が参加した。公開保育をもとにした協議と幼保小連携や接続に関する情報交換が行われた。幼児期の教育で大切にされていることをどのように小学校における教育へとつなげていくか参加者が熱心に協議した。

○市立幼稚園教育研究協議会の研修会の際、アプローチカリキュラム作成について指導・助言し、幼小接続期カリキュラム作成への意識が高まった。

8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実

8-(2) 学び育つ各世代への支援

主な事業・にいがた市民大学開設事業・現代的課題を学ぶ公民館事業
・学習成果を発表する場の提供・子どもの読書環境の整備
・子どもが読書に親しむ機会の充実
・仕事やくらしの課題解決のための情報提供事業

H28施策評価
5.0

【NEXT5】

○子育てや各世代の学びに対する支援に努め、地域の教育力の活用を推進します。

●施策の目標

指標1	にいがた市民大学の受講率(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
進捗状況		84.5	122.5	112.5			
指標2	現代的課題を学ぶ事業の実施						H28評価
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
指標目標		実施	実施	実施			
進捗状況	-	実施	実施				
指標3	文化祭・芸能祭等の実施						H28評価
IV型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	/
指標目標		実施	実施	実施			
進捗状況	-	実施	実施				
指標4	児童書の貸出冊数(冊)12歳以下の子ども1人あたり						H28評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		12.2	12.4	13.2			
進捗状況		12.1	13.1	13.1			
指標5	レファレンス受付件数(件)						H28評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		72,000	72,800	90,000			
進捗状況		69,600	83,157	94,580			

○**市民の学習活動の場の確保に努めた。**

◎にいがた市民大学：市民提案講座や大学コンソーシアム連携講座など、専門性の高い講座や、時代と社会の要請に応えた講座を合計5講座開設した。定員を上回る受講申し込みがあり、市民の高度で専門的な学習要求に応えた。

○若者を対象に社会人としての能力を高め、他業種の人とのネットワークを広げる機会となる講座や高齢者の健康と生きがいづくりと地域社会参加への支援など、現代的課題の学習機会を提供した。講座受講生が、自主サークルを結成し、更に学習を進め、次年度の講座でスタッフとして参加するなど、学習成果が生かされている。

○公民館で活動している団体の、日頃の学習成果を発表する場として、文化祭や芸能祭を開催し、公民館利用団体等の活性化と学習意欲の向上を図った。

○図書館や学校などでの読み聞かせを行えるよう、読み聞かせボランティアを新たに47名養成した。

9 地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進

9-(1) 地域と共に歩む学校づくりの推進

主な事業・地域と学校パートナーシップ事業
・ふれあいスクール事業
・公民館出前型事業

H28施策評価
4.5

【NEXT5】

○学・社・民の融合による教育を推進します。

●施策の目標

指標1	1校あたりの学校支援ボランティア(延べ人数)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		1,240	1,270	1,640	1,670	1,700	
進捗状況		1,210	1,531	1,611			
指標2	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29~ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	
進捗状況		1.93	1.97	2.02			
指標3	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29~土曜プログラム活用校数(校)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		4	4	20	24	27	
進捗状況	-	4	4				
指標4	公民館出前型事業の実施校数(校)						H28評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		66	67	94			
進捗状況		66	72	89			

○**すべての市立学校に配置された地域教育コーディネーターが地域と共に歩む学校づくりを推進した。**

○地域と学校パートナーシップ事業については、地域から多くの学校支援ボランティアの協力を得て、学習活動の充実、子どもたちの人間関係の広がりや深まり、子どもたちが認めてもらえる機会の増加がみられた。また、学校の地域貢献活動や社会教育施設及び地域コミュニティ協議会との協働事業が増加傾向にある。

○ふれあいスクール事業は、28年度新たに1校を加え、小学校67校で実施した。また、ふれあいスクール運営主任の研修会には、放課後児童クラブの支援員も参加し、ふれあいスクールと放課後児童クラブの連携についての研修や情報交換を行った。

9-(4) 高等教育機関及び企業との連携推進

主な事業 ・高等教育機関活用推進事業
・図書館と教育機関・企業との連携・協力

H28施策評価
4.7

【NEW5】

○学校や公民館・図書館などにおいて、多様なニーズに応じた学習機会の充実を図るため、企業や民間団体と連携する取組を始めます。

●施策の目標

指標1	高等教育機関からの専門的な情報提供、指導等を受けている教育課題(課題)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		2	3	3			
進捗状況	1	2	3				
指標2	にいがた市民大学の受講率(%)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
進捗状況	84.5	122.5	112.5				
指標3	連携・協力の実施状況(連携事業数)(件)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	5
指標目標		9	9	9	9	9	
進捗状況	9	11	11				

□高等教育機関・企業等と連携・協力し、多様なニーズに応じた学習機会を提供した。

○外国語教育については、文科省の英語強化事業「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」を実施し、県外から指導者を招いて、授業を参観してもらうとともに、研究授業の指導案検討の際は、中・高の英語教師の指導力向上にむけての助言をもらった。

○平成28年度より、新たに公益財団法人新潟市国際交流協会との連携による「外国語の絵本の読み聞かせ」、新潟薬科大学との連携による「図書館活用ゲーミフィケーション(図書館の活用方法を学ぶための大学生向け図書館ガイダンス)」を行い、好評を得た。

10 学びのセーフティネットの構築に向けた取組の推進

10-(1) 防災・安全教育の充実

主な事業 ・「防災教育」学校・地域連携事業(ふるさと新潟防災教育推進事業)

H28施策評価
4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1	「防災教育」学校・地域連携事業指定校数(校・累計)						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		34	68	102	136		
進捗状況	8	34	69				

□「防災教育」学校・地域連携事業の35指定校で、小中学校及び地域と連携した自校化プログラムを作成した。

○各校の防災担当者及び地域教育コーディネーターを対象に、「防災教育」学校・地域連携事業実施研修会を開催した。新潟県防災教育プログラムの<教職員ガイド編>を用いて、防災教育の理念と防災教育の自校化についての説明を行った。また、平成27年度指定校による活動報告(4校)及び中学校区単位でのワークショップを行った。各校の防災教育実践の方向と指導計画自校化のイメージをもつことができるようになった。

10-(4) 学びを支援する体制の整備と充実

主な事業 ・就学援助事業
・奨学金貸付事業(高校～大学院)
・社会人奨学金貸付事業

H28施策評価
4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1	就学援助制度の保護者への周知率(%)小学校						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0		100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0				
指標2	就学援助制度の保護者への周知率(%)中学校						H28評価
II型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0		100.0	
進捗状況	100.0	100.0	100.0				
指標3	奨学生(高校～大学院)の採用率(%)						H28評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0			
進捗状況	100.0	100.0	100.0				
指標4	奨学生(社会人)の採用率(%)						H28評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		100.0	100.0	100.0			
進捗状況	100.0	100.0	100.0				
指標5	ふれあいスクール週当たり開催(日数)→H29～ふれあいスクール年間開催(1校当たり日数)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		2.00	2.10	49	51	53	
進捗状況	1.93	1.97	2.02				
指標6	土曜プログラムモデル実施校数(校)→H29～土曜プログラム活用校数(校)						H28評価
I型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		4	4	20	24	27	
進捗状況	-	4	4				
指標7	放課後の学習支援をする中学校(校)						H28評価
III型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		56	56	56			
進捗状況	-	56	56				

□就学援助事業、奨学金貸付事業を着実に実施し、保護者や採用者に対しての経済的負担の軽減を図った。

○就学援助事業は、小・中学校を通じて保護者全員に「就学援助制度についてのお知らせ」を4月及び10月の年2回配付し周知を図った。児童生徒数59,162人のうち、認定した16,043人の保護者に対して、学校にかかる学用品費や給食費等の一部を援助し、経済的負担の軽減を図った。

○奨学金貸付事業は、募集人数120人に対し、98人の申請があった。そのうち選考基準を満たした93人について採用を決定し貸し付けを行い、高等教育の機会均等を図った。制度周知の強化を図るため、市内の高校を通じて、来年度に進学予定の高校3年生の約8,000人に対して、拡充した返還特別免除制度についての情報が掲載されている案内チラシを配付した。

○社会人奨学金貸付事業は、募集人数10人に対し、7人の申請があった。申請者全員について採用を決定し、キャリアアップを目指す社会人学生に対して経済的支援を行った。

11 学校教育・生涯学習環境の基盤整備

11-1) 効果的な指導を支援する施設設備の充実

主な事業 ・学校ICT環境整備事業
・教育ネットワーク構築事業

H28施策評価
4.0

【NEW5】

○世界とともに生き創造性を発揮する新潟の子どもや市民の育成を目指し、コミュニケーション能力向上とICT活用への取組を進めます。

●施策の目標

指標1	タブレット型コンピュータを整備した小・中学校の割合(%)						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		34.0	68.0	90.0	100.0	100.0	
進捗状況	5.0	34.0	68.0				
指標2	教育ネットワークの構築						H28評価
Ⅳ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		調査・研究	調査・研究	導入方法検討	計画策定	開発	
進捗状況	-	調査・研究	調査・研究				

□**学校内のコンピュータ教室用の端末等機器、校内LAN用コンピュータ、教職員用コンピュータの更新を計画通りに実施した。**

○教育用コンピュータ、校内LANコンピュータの更新は下記の計画どおりに実施されている。更新作業は10月31日までに終了。
・更新計画 … 教育用コンピュータ 58校 2,438台(内タブレット550台) / 校内LAN用コンピュータ 101校 567台(内タブレット480台)

○教育ネットワークの導入については、導入内容の検討を行った。

12 市民に信頼される教育関係職員の育成

12-1) 教育関係職員の研修プログラムの充実

主な事業 ・教育関係職員の研修プログラムの一層の充実
・学社民融合研修の推進

H28施策評価
4.0

【NEXT5】

○市民から信頼される学校・教育機関となるよう、人材の育成と職場の環境整備を進めます。

●施策の目標

指標1	各研修講座における受講者の満足度と活用度(%)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		80.0	85.0	85.0			
進捗状況	80.0	87.0	87.5				
指標2	マイスター養成塾修了者(人)						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		102	108	110	120		
進捗状況	102	103	110				
指標3	学社民融合研修会の実施(回)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		7	7	7			
進捗状況	7	7	7				

□**研修プログラムの改善により、講座受講者の満足度と活用度が目標を上回った。**

○前年度より6講座減らしたために、参加人数は減ったが、受講者の評価は高い数値を維持することができた。法定研修・若手教師道場での「指導主事等とのマンツーマンの授業づくり研修」の体制を堅持したこと、学校のニーズに応じた研修講座を提供したこと、参加型の研修方法を工夫したことが評価されている。

○パートナーシップ事業研修会に公民館の学社民融合支援主事、図書館職員が延べ98名参加して地域教育コーディネーターとの情報交換を行い、地域教育コーディネーターと社会教育施設とのネットワークづくりを促した。また、地域教育コーディネーターのスキルアップのため、研修運営を担当する地域教育コーディネーターによる研修幹事会と区研修を実施した。

13 ニーズと課題に応える教育行政の創造

13-1) 新潟らしい教育改革の推進

主な事業 ・区教育ミーティングの開催
・中学校区教育ミーティングの開催

H28施策評価
4.0

【NEW5】

○ニーズと課題に迅速に対応できる教育行政のシステムづくりと学びのセーフティネットの整備を進めます。

●施策の目標

指標1	区教育ミーティングの開催(回)						H28評価
Ⅲ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		16	16	16			
進捗状況	16	16	16				
指標2	中学校区教育ミーティングの実施回数(累計中学校区数)→H29～(中学校区数)						H28評価
Ⅱ型	H26	H27	H28	H29	H30	H31	4
指標目標		32	56	28	28		
進捗状況	8	32	56				

□**教育委員が担当区の区教育ミーティングや中学校区教育ミーティングに参加し、地域や中学校区の取組・課題の共通理解を図れた。**

○第1回目の区教育ミーティングでは、今年度教育委員会が進める施策のうち、特に市民と協働して行う事業について情報提供をし、意見交換を行った。第2回目では、各区の課題や特徴をテーマに話し合うとともに、教育委員から他区の事例を紹介するなど意見交換の充実を図った。

○中学校区教育ミーティングでは、各中学校区の取組や課題について意見交換し、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図った。

3 教育ビジョン推進委員からの主な質問・意見・要望と教育委員会の対応

施策1-(1) 「社会の変化や新たな課題に対応できる教育の推進」

○ ESD（持続可能な開発のための教育）の広報はどのように行っているのか。また「アクティブ・ラーニング等の取組を研究主任が各学校でリードできるよう支援した」とあるが、研究主任は校内のどのような人が務め、教育委員会は学校の支援要請に十分に答えられているのか。

⇒ ESDについては学校支援課で作成している広報紙等を通じて周知している。研究主任は教諭が務め、授業研究やESDの実施計画等を立てて推進している。学校支援課では計画訪問は2年に1回、要請訪問は各校からの要請に応じて対応している。この他にも総合教育センターの研修や出前講座等で学校の支援にあたっている。

施設1-(5) 「学習習慣の定着」

○ 「家庭学習を1時間以上する中学校2年生の割合」は増えているが、どのように調べているのか。また小学校6年生や中学校の各学年ごとの状況などはわかっているのか。

⇒ 新潟市の生活・学習意識調査は小中学校全学年を対象にしている。「していない」から「3時間以上している」までの幅で状況の把握はしている。全国学力学習状況調査は小6と中3で行われているが、小学校は全国と同じか少し良い状況で、中学校は全国を下回る状況である。

施策1-(6) 「読書活動の推進と新聞活用の充実」

○ 図書館の活用や読書の推進等に取り組んでいるが、読書の感想文を書いたり、その発表を通じて、人の心を育てることはとても大切であると思うが、そのようなことは行われているのか。

⇒ 指標では明確に表れていないが、学校司書を中心に、学級担任等との連携の上で実施されている。

施策3-(2) 「外国語教育・国際理解教育の充実」

○ 小学校3年生からの導入、現中学校3年生が臨む大学入試の改革等を踏まえて、市としての考え方について教えてほしい。また今後、小学校教員に対する研修はどのように変わっていくのか、具体的に教えてほしい。

⇒ 昨年度から小中高連携研究指定校を設置して校種を超えた英語指導の研究に取り組んでいる。また小学校で英語が完全実施される32年度を目途に、子どもたちの英語力を高めるために、計画訪問や要請訪問を通じて、子どもたちが協働性を発揮して学ぶアクティブ・ラーニングの推進を指導している。

小学校教員の研修については、毎年、小中1名の教員が文部科学省の研修を受け、市内の10数名の中核教員に6回の研修を通じて伝達している。次年度はその中核教員が他の教員に伝えていく計画を行う。ALTには、現在の31名を、平成32年までに40名程度に増やす計画である。

○ 英検IBAを140名が受検しているが、全中学校英語教員のどれだけの割合になるか、また今後は、小学校や高等学校にも拡大していくのか。

⇒ 140名は全中学校英語教員の人数である。今のところ、中学校英語教員の力量向上を考えて実施している。

施策4-(1) 「子ども一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育の推進」

- 「インクルーシブ教育システム」を推進する上で、特別支援教育支援員やソーシャルスキルコーチ、特別支援教育サポーター、クラスサポーター等の配置で、子どもを支援するための学校からの要請に応えられているのか。
 - ⇒ 配置基準に沿って配置はできており、現状では足りているが、学校からは更に人手がほしいという要請があり、必要などころには配置をしている。

- 特別支援教育の教員研修はとても大切であるが、実際にどのような方法で行われ、受講した教員の割合はどの程度であるか。
 - ⇒ 平成28年度は校長・教頭を対象に実施し、管理職、特別支援教育コーディネーター、他の教員へと進めていった。概ね4,000人の教職員に対して、毎年1,500人ずつ実施していき、インクルーシブ教育システムの意義や求められている取組等の理解を図り、推進していく。

- 特別支援教育やいじめ対応の研修等では、危険性をもつ状況等を認知できる感性を育むことが大切である。聞くだけの研修でなく、様々な事例検討を通じた感性を磨く研修を目指してほしい。その際、特別支援教育サポートセンターや各区担当指導主事からアセスメント等を指導していただきたい。
 - ⇒ 一人一人の職員が参画し、様々な事例から学んでいくことはとても大切であり、今後の研修計画に活かしていきたい。

施策4-(3) 「早期からの就学相談・支援の充実」

- 入学支援ファイルの活用について、新入生の4.8%は少ないとの印象を受ける。幼稚園や保育園から子どもを受け入れる小学校は、もっと提出してほしいと願っているのではないか。また入学支援ファイルを記入するのは保護者であるのか。
 - ⇒ 全新生約6,000人の5%であれば300人。普通学級の在籍の児童であり、少ない数値ではないと考えられる。入学支援ファイルは、保護者に説明して、保護者の同意の下、担当教員も記載し、場合によっては療養施設や医師からも記載してもらっている。

施策8-(2) 「学び育つ各世代への支援」

- 「にいがた市民大学」であるが、今後の開催のねらいを含めて、市民大学の意義を教えてください。また講座で学んだ学習成果を活かすための取組が大切であるが、そのために次年度の講座スタッフとして参加したり、自主組織で更に学んだりすることはあるのか。
 - ⇒ 民間団体等も各種の講座を行っている状況を踏まえて、今後も専門性の高い、また時代のニーズにあった内容で、学習機会を提供していく。学んだことを、他地域や他団体等に入って伝えたり、共に活動したりする「学びの循環」は大切であり、主要な事業の1つとして取り組んでいきたい。

- 図書館事業の「赤ちゃんタイム」や「うちどく」が始まったきっかけや現状、課題などを教えてください。
 - ⇒ 「赤ちゃんタイム」は乳幼児を連れて図書館に行けることを目的に、平成26年度に中央図書館で始め、現在は全19図書館で実施している。楽しみに来館していただき、来館者同士の交流も生まれ

ている。「うちどく」は家族と一緒に本を読んだり、感想を話し合ったりして、家族のコミュニケーションを深めることを目的とした家庭内の読書を勧める事業である。

今後更に広く周知するため、ロゴマークの活用、ブックリストの広報、読書ノートの配布等を継続して行っていく。

施策9-(1) 「地域と共に歩む学校づくりの推進」

○ 地域と学校ウェルカム参観日は、昨年度16校から45校に拡大しましたが、参観者は何人だったのか。また授業参観日だからこそ増えたのか。

⇒ 45校で12,767人、昨年度と比べ約4倍となっている。通常の授業参観を拡大している場合もあるが、地域の方に来ていただくためにという場合もあり、各校で異なる。地域の方はおよそ3,000人が来校していた。

施策9-(3) 「学校・地域・NPO等の協働の推進」

○ 「共生社会」や「学・社・民」等により、アウトリーチ型の支援が行われていると思うが、新潟市の事例等について紹介してほしい。またコミュニティ協議会など、地域の組織等が参画していることはあるのですか。

⇒ 地域との連携を大切にし、NPOの方々との連携は約半数の学校で行われている。大学や専門学校とでは53%の学校が連携している。連携内容は、生活指導や学力向上など学校の必要感に基づいて行われ、地域教育コーディネーターが連携先との橋渡しや内容の相談をしている。昨年度、コミュニティ協議会と学校が連携して取り組んだ学校数は、153校であり、全学校の92%である。

施策11-(1) 「効果的な指導を支援する施設設備の充実」

○ タブレット型コンピュータの配置完了時の状況について、教えてほしい。また協働的な学びや集団性を高める取組のためにはとても有効な機器であるため、更に使いやすい環境にしてほしい。

⇒ 平成30年度までに、小中学校各校に10台ずつの配置が終了する予定である。授業等で十分に活用できる状況になると考えている。

参考資料 新潟市教育ビジョン推進委員会平成28年度施策評価経過

No.	開催会議等	開催年月日	協議内容等
1	第32回推進委員会	平成28年 2月9日(火)	・平成28年度主要事業について
2	第34回推進委員会	平成28年 10月31日(月)	・平成28年度施策実施状況について(中間評価)
3	第36回推進委員会	平成29年 5月30日(火)	・平成28年度施策評価について

新潟市教育ビジョン推進委員会（第5期）委員名簿

任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日

(50音順)

No.	氏名	所属
1	石坂 学	鳥屋野中学校長
2	岩田 すみ江	山田小学校長
3	大宮 一真	新潟市小中学校PTA連合会会長
4	高橋 文子	新潟県生涯学習協会事務局長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護学部教授
6	松下 久美子	公募委員
7	宮藺 衛	新潟大学教育学部教授

新潟市教育ビジョン推進委員会（第6期）委員名簿

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日

(50音順)

No.	氏名	所属
1	小林 利花子	公募委員
2	高橋 恒彦	東新潟中学校長
3	高橋 文子	新潟県生涯学習協会事務局長
4	田中 一昭	新潟市小中学校PTA連合会副会長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護学部教授
6	畠山 典子	関屋小学校長
7	松井 賢二	新潟大学教育学部教授